




# Dell Venue Pro 11 – 5130

## ユーザーズガイド

規制モデル: T06G  
規制タイプ: T06G001



# メモ、注意、警告

-  **メモ:** コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。
-  **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その問題を回避するための方法を説明しています。
-  **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

**著作権 © 2015 Dell Inc. 無断転載を禁じます。** この製品は、米国および国際著作権法、ならびに米国および国際知的財産法で保護されています。Dell™、およびデルのロゴは、米国および/またはその他管轄区域における Dell Inc. の商標です。本書で使用されているその他すべての商標および名称は、各社の商標である場合があります。

2014 -12

Rev. A01

# 目次

|  |           |
|--|-----------|
| <b>1 タブレットでの作業</b> .....                   | <b>5</b>  |
| タブレット内部の作業を始める前に.....                      | 5         |
| タブレットの電源を切る.....                           | 6         |
| <b>2 タブレットのセットアップ</b> .....                | <b>8</b>  |
| タブレットの充電.....                              | 8         |
| タブレットの電源を入れる.....                          | 9         |
| 画面をオフにする.....                              | 10        |
| 電源ボタンを使うチャームを使う.....                       | 10        |
| <b>3 タブレットの使用</b> .....                    | <b>11</b> |
| 画面の向き.....                                 | 11        |
| 画面の向きをロック / ロック解除する方法.....                 | 11        |
| 画面の輝度を調節する.....                            | 11        |
| ジェスチャ.....                                 | 12        |
| 右クリック.....                                 | 13        |
| Windows スタート画面.....                        | 14        |
| スタート画面にアクセスする方法.....                       | 14        |
| Windows 8.1 を知る.....                       | 15        |
| 右にスワイプ.....                                | 15        |
| 左にスワイプ.....                                | 15        |
| スワイプアップ / ダウン.....                         | 15        |
| 分割画面.....                                  | 16        |
| ヘッドフォンの使用.....                             | 16        |
| マイクロ SD カード取り外し.....                       | 17        |
| マイクロ SD カードトレイの取り付け.....                   | 18        |
| バッテリーの取り外し.....                            | 18        |
| バッテリーの取り付け.....                            | 19        |
| マイクロ SIM カードの取り付け.....                     | 19        |
| <b>4 タブレット設定の管理</b> .....                  | <b>21</b> |
| Wi-Fi 設定.....                              | 21        |
| Wi-Fi のをオン / オフにする.....                    | 21        |
| ネットワークへの接続.....                            | 21        |
| モバイルブロードバンド設定.....                         | 22        |
| モバイルブロードバンドをオン / オフにするモバイルブロードバンドネットワークへの接 |           |
| 続モバイルブロードバンドネットワークから切断するモバイルブロードバンドのオプショ   |           |
| ンサービスプロバイダのハードウェア情報 PIN ロックを有効にする.....     | 22        |

|                                    |           |
|------------------------------------|-----------|
| タブレットのリフレッシュ / リカバリ / 再設定.....     | 24        |
| ファイルに影響を与えることなく PC をリフレッシュする.....  | 25        |
| すべてを削除して Windows を再インストールする.....   | 25        |
| アドバンスト起動.....                      | 25        |
| <b>5 タブレットの同期化.....</b>            | <b>26</b> |
| Microsoft アカウントの使用.....            | 26        |
| 音楽、写真、およびビデオのコピー.....              | 26        |
| <b>6 スタイラス機能 (オプション) .....</b>     | <b>27</b> |
| スタイラスの使用準備.....                    | 27        |
| タブレットでのスタイラス (オプション) の使用 .....     | 28        |
| <b>7 デスクトップドックの機能.....</b>         | <b>29</b> |
| タブレットのドッキング.....                   | 30        |
| 電源アダプタの接続.....                     | 31        |
| <b>8 薄型トラベルキーボードドックの機能.....</b>    | <b>32</b> |
| タブレットを薄型トラベルキーボードドックにドッキングする ..... | 32        |
| <b>9 モバイルキーボードドックの機能.....</b>      | <b>34</b> |
| タブレットをキーボードドックにドッキングする .....       | 34        |
| タブレットをキーボードドックからドッキング解除する.....     | 35        |
| ドックの充電.....                        | 35        |
| バッテリーの動作.....                      | 36        |
| <b>10 タブレットのクリーニング.....</b>        | <b>37</b> |
| <b>11 トラブルシューティング.....</b>         | <b>38</b> |
| バッテリーの問題.....                      | 38        |
| システムの問題.....                       | 39        |
| タッチスクリーンの問題.....                   | 40        |
| ネットワークの問題.....                     | 40        |
| <b>12 セットアップユーティリティ.....</b>       | <b>41</b> |
| セットアップ(BIOS)オプション.....             | 41        |
| BIOS のアップデート .....                 | 51        |
| <b>13 仕様.....</b>                  | <b>52</b> |
| <b>14 デルへのお問い合わせ.....</b>          | <b>56</b> |

# タブレットでの作業

## タブレット内部の作業を始める前に

タブレットの潜在的損傷を防ぎ、ユーザー個人の安全を守るため、以下の安全に関するガイドラインに従ってください。特記がない限り、本書に記載される各手順は、以下の条件を満たしていることを前提とします。

- タブレットに付属の「安全に関する情報」を読んでいること。

- ⚠ **警告:** タブレット内部の作業を始める前に、タブレットに付属の「安全に関する情報」に目を通してください。安全に関するベストプラクティスの追加情報については、規制コンプライアンスに関するホームページ ([www.dell.com/regulatory\\_compliance](http://www.dell.com/regulatory_compliance)) を参照してください。
- ⚠ **注意:** 修理作業の多くは、認定されたサービス技術者のみが行うことができます。製品マニュアルで許可されている範囲に限り、またはオンラインサービスもしくは電話サービスとサポートチームの指示によってのみ、トラブルシューティングと簡単な修理を行うようにしてください。Dell で認められていない修理（内部作業）による損傷は、保証の対象となりません。製品に付属しているマニュアルの「安全にお使いいただくために」をお読みになり、指示に従ってください。
- ⚠ **注意:** 静電気による損傷を避けるため、静電気防止用リストバンドを使用するか、またはタブレットの裏面にあるコネクタなどの塗装されていない金属面に定期的に触れて、静電気を身体から除去してください。
- ⚠ **注意:** コンポーネントやカードの取り扱いには十分注意してください。コンポーネントやカードの端子に触れないでください。カードを持つ際は縁を持つか、金属製の取り付けブラケットの部分を持ってください。
- ⚠ **注意:** ケーブルを外す場合は、ケーブルのコネクタかプルタブを持って引き、ケーブル自体を引っ張らないでください。コネクタにロックングタブが付いているケーブルもあります。この場合、ケーブルを外す前にロックングタブを押さえてください。コネクタを引き抜く場合、コネクタピンが曲がらないように、均一に力をかけてください。また、ケーブルを接続する前に、両方のコネクタが同じ方向を向き、きちんと並んでいることを確認してください。
- 📌 **メモ:** タブレットの色および一部のコンポーネントは、本書で示されているものと異なる場合があります。

タブレットの損傷を防ぐため、タブレット内部の作業を始める前に、次の手順を実行してください。

1. タブレットのカバーに傷がつかないように、作業台が平らであり、汚れていないことを確認します。
2. タブレットの電源を切ります（「[タブレットの電源を切る](#)」を参照）。
3. タブレットが、オプションのドッキングステーションやキーボードドックなどのドッキングデバイスに接続されている（ドッキング）場合は、ドッキングを解除します。
4. 電源アダプタをタブレットから外します。
5. 電源ボタンを数秒間押して、システム基板からフリー電源を取り外します。

- ⚠ **注意:** 感電を防ぐため、必ずコンセントからタブレットを外します。

△ 注意: タブレットの内部に触れる前に、タブレットの裏面など塗装されていない金属面に触れ、静電気を除去します。作業中は定期的に塗装されていない金属面に触れ、内部コンポーネントを損傷する恐れのある静電気を放出してください。


6. タブレットからストレージ SD カードを取り外します。

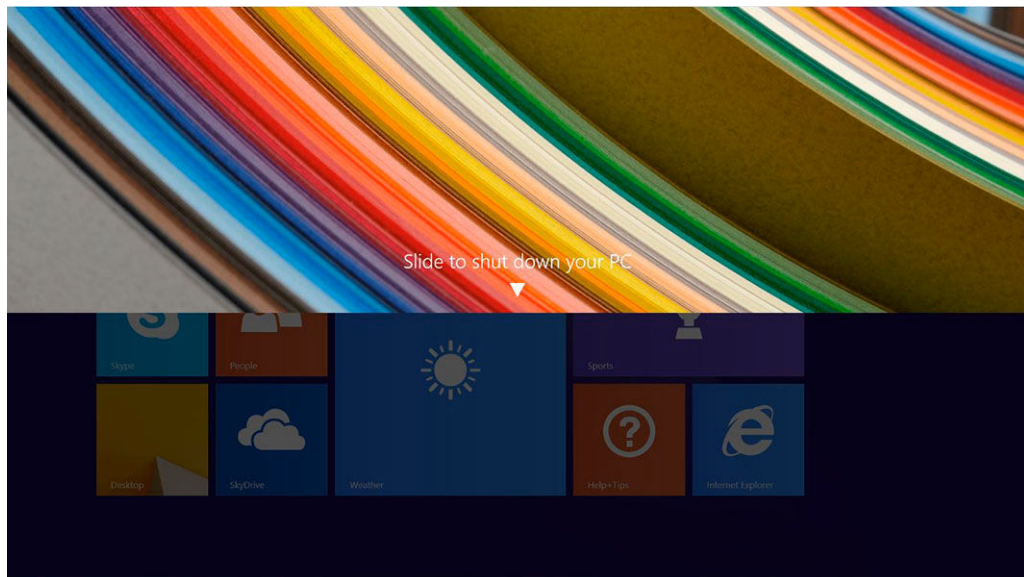
## タブレットの電源を切る


タブレットの電源を切ると、タブレットを完全にシャットダウンします。タブレットの電源を切るには、次の2つの方法があります。

- 電源ボタンを使う
- チャームメニューを使用する



1. 電源ボタンを使用してタブレットの電源を切るには、次の手順を実行します。

- a. 電源ボタンを  画面に「スライドさせて、PC をシャットダウン」と表示されるまで、





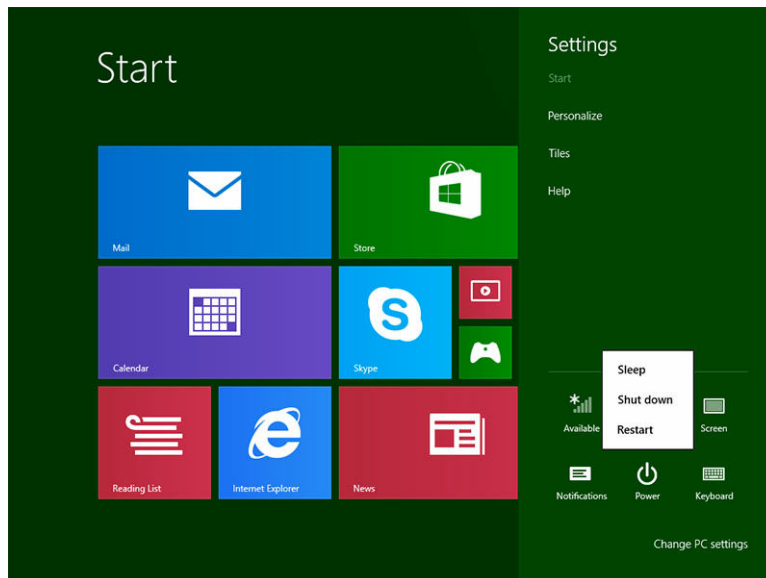
 **メモ:** 電源ボタンを押したままにすると、デフォルトで、「スライドさせて、PC をシャットダウン」画面が、Venue 11 Pro 7130 でのみ表示されます。Venue 11 pro 7130 vPro および Venue 11 Pro 7139 の場合、デフォルトではタブレットはスリープモードに入ります。ただし、電源ボタンの設定をシャットダウンに変更した場合、タブレットはシャットダウンします。電源ボタンの設定を変更するには、[コントロールパネル]>[電源オプション]>[プラン設定の変更]>[詳細な電源設定の変更]の順に進みます。[コントロールパネル]にアクセスするには、画面の右端をスワイプして、[検索]をタップし、検索ボックスに「コントロールパネル」と入力し、[コントロールパネル]をクリックします。

- b. スライドさせて、タブレットをシャットダウンします。

 **メモ:** 画面を下にスライドさせずに、タブレットの電源をオフにすることもできます。電源を押し続けます  タブレットの電源を切ります。タブレットが反応しない、予期しない動作をする、またはタッチスクリーンが動作しない場合に、この強制シャットダウンを行います。

2. チャームメニューを使用してタブレットの電源を切るには、次の手順を実行します。

- a. ディスプレイの右端からスワイプして、チャームメニューにアクセスします。
- b. 設定  -> 電源  -> シャットダウンの順にタッチして、タブレットの電源を切ります。



## タブレットのセットアップ

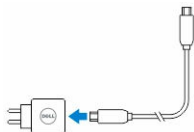
### タブレットの充電

△ 注意: 0°C から 40°C の周辺温度でバッテリー充電を行ってください。

△ 注意: 付属の電源アダプタと電源ケーブルを使用して充電してください。無認可の電源アダプタや電源ケーブルを使用すると、タブレットに深刻な損傷を与える場合があります。

✍️ メモ: タブレットを箱から出した時点では、バッテリーはフル充電されていません。

1. 電源ケーブルを電源アダプタに接続します。



2. 電源アダプタを電源コンセントに接続して、バッテリーがフル充電されるまでタブレットを充電します。

✍️ メモ: タブレットのバッテリーのフル充電にはおよそ 4 時間かかります。

タブレットバッテリーの充電ステータスは次のように確認できます。







- タブレットの前面にあるバッテリー充電ライト:

| LED の動作     | 説明   |
|-------------|--|
| 白一色が点灯      | バッテリーが充電中です。   |
| オフ          | バッテリーが充電されていません。AC アダプタが接続されていない、またはバッテリーがフル充電されています。  |
| 一時的にアンバーが点灯 | <ul style="list-style-type: none"> <li>- LED が 2 秒間アンバーになり、白色に変わります。これは、現在の充電状態ではシステムの電源を入れることができず、バッテリーが充電中であることを示します。</li> <li>- バッテリーが充電中</li> <li>- タブレットに電源が入りません。</li> </ul> |


✍️ メモ: オペレーティングシステムを起動して、正確なバッテリーの充電レベルを確認します。


- 次のようなバッテリーアイコンが画面に表示されます。



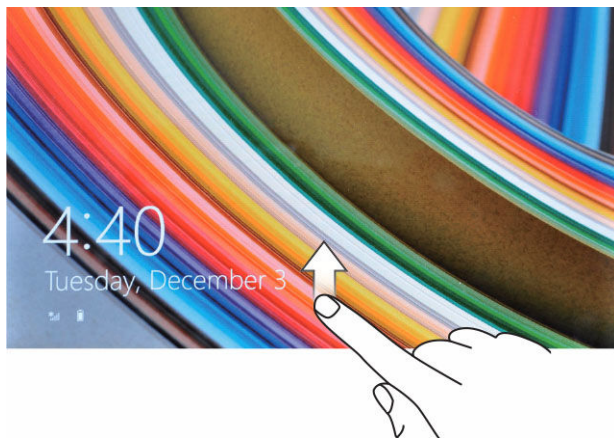
| バッテリーアイコン   | 説明  |
|---|---|
|  | バッテリーがフル充電されていて、AC アダプタが接続されています。                         |
|  | バッテリーが AC アダプタで充電されています。                                  |
|  | タブレットがバッテリー電源で動作していて、バッテリーが放電中です。                         |
|  | タブレットがコンセントに接続されています。、バッテリーが検出されないか、またはバッテリーが正常に機能していません。 |
|  | バッテリーの充電レベルが低いです。   |
|  | バッテリーの充電レベルが極端に低くなっています。                                  |


## タブレットの電源を入れる


 **メモ:** このタブレットは 0 ~ 40°C の周囲温度内で使用するようになります。

1. 電源ボタンを  2 秒間押し続けて、タブレットの電源を入れます。
2. ロック画面が表示されたら、画面の下から指をスワイプさせてログイン画面に切り替え、パスワードを入力して Windows にログインします。

Windows のスタート画面が表示されたら、タブレットの使用準備完了です。



 **メモ:** ログイン画面が Windows 8.1 で有効になっていない場合は、ロック画面から直接スタート画面に移動します。



 **メモ:** スリープ状態から復帰したときにのみ、ロック画面が表示されます。




## 画面をオフにする

### 電源ボタンを使う

電源ボタンを押して、 画面をオフにします。

### チャームを使う


1. ディスプレイの右端からスワイプしてチャームバーにアクセスします。
2. 設定  → 電源  → スリープ の順にタッチして、画面をオフにします。

 **メモ:** タブレットがスリープ状態にある場合は、電源ボタン、 または **Windows** ボタンを押して、 いったん画面をオンにします。





# タブレットの使用

## 画面の向き


最適な表示のため、タブレットの持ち方に応じて画面の向きが自動的に縦向きまたは横向きに変わります。

 **メモ:** 一部のアプリケーションで、縦向きまたは横向きへの自動画面回転に対応していない場合があります。

## 画面の向きをロック / ロック解除する方法


1. ディスプレイの右端からスワイプしてチャームバーにアクセスします。
2. **設定**  → **画面の順**にタッチします。 .
3. トグルスイッチをタッチして、 画面の向きをロック、または  ロック解除します。


## 画面の輝度を調節する

切り替えメニューの下のスライダーを使用して、画面の輝度を調節することも  できます。



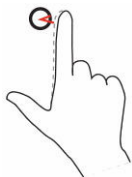

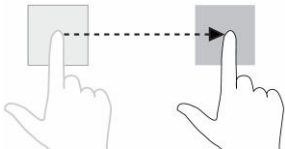
画面を自動的に調節することもできます。自動的に画面の輝度を調整するには、次の手順を実行します。

1. ディスプレイの右端からスワイプしてチャームバーにアクセスします。
2. **設定**  → **PC の設定変更** → **PC とデバイス** → **電源とスリープ** の順にタッチします。
3. [輝度] で、左または右にスライドさせて自動輝度オプションのオン / オフを切り替えます。

 **メモ:** スライダーのオン / オフを切り替えて、画面の輝度を周囲光に合わせて自動的に調節できます。

## ジェスチャ

タブレットにはマルチタッチディスプレイが搭載されています。画面にタッチしてタブレットを操作できます。

| ジェスチャ操作   | 機能   |
|---|--|
| <p><b>タッチ</b><br/>画面を指先で軽くタップします。</p>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>• オプション、エントリ、画像、およびアイコンを含む画面上のアイテムを選択</li> <li>• アプリを起動</li> <li>• 画面のボタンをタッチ</li> <li>• オンスクリーンキーボードを使ってテキストを入力</li> </ul> |
| <p><b>長押し</b><br/>画面を指で長押し</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>• アイテムの詳細情報を表示</li> <li>• アイテムのコンテキストメニューを開いて、追加的な操作を行う</li> </ul>  |
| <p><b>ドラッグ &amp; ドロップ</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 画面上のアイテムを指で長押し</li> <li>2. 指を画面に置いたまま、希望の方向へ指先を動かす</li> <li>3. 指を画面から離して、アイテムを希望の場所にドロップする</li> </ol>  | <p>画面上で画像やアイコンなどのアイテムを移動する</p>   |
| <p><b>スワイプまたはスライド</b></p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>• スタート画面、ウェブページ、リスト、エントリ、写真、連絡先などをスクロールする</li> </ul>  |

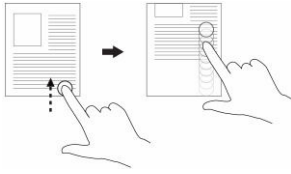
---

## ジェスチャ操作

## 機能

指を画面で水平または垂直方向に動かす

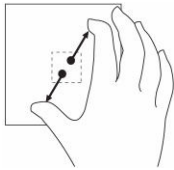
- アプリケーションを閉じます。(アプリケーションを画面の下にスワイプします)



### ズームイン

画像やウェブページの表示を拡大する

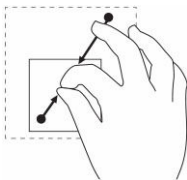
2本の指で画面をタッチし、その指を開く



### ズームアウト

画像やウェブページの表示を縮小する

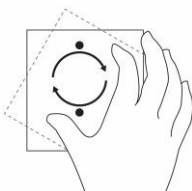
2本の指で画面をタッチし、その指を閉じる



### 回転

オブジェクトを90度回転させる

2本以上の指で画面をタッチし、指を時計回りまたは反時計回りに動かす



## 右クリック

タブレットで右クリックを実行するには、画面のいずれかのセクションまたはアイコンで指を2秒間長押しして離します。

オプションメニューが画面に表示されます。




## Windows スタート画面

Windows スタート画面にデフォルトのリストとカスタムライブタイルが表示されます。これは、コントロールパネル、Windows エクスプローラ、天気アプリケーション、RSS、Windows ストア、インターネットエクスプローラ、およびインストールされているその他のアプリケーションへのショートカットとして機能します。

スタート画面のライブタイルはリアルタイムで変更、アップデートされるため、最新のニュースやスポーツ情報を取得し、友達が何をしているかをチェックし、最新の天気予報を知ることが可能です。



このタイルベースのユーザーインターフェイスで、最近使用したアプリケーション、電子メール、写真、音楽、ビデオ、連絡先、Facebook や Twitter の新着情報、よく使うウェブサイトに直接アクセスすることができます。お気に入りのアプリケーションや頻繁に使用するアプリケーションをライブタイルとしてピン留めし、スタート画面をカスタマイズできます。

お気に入りの写真を壁紙として設定し、スタート画面をカスタマイズすることもできます。

 **メモ:** ライブタイルは、「ピン留めする」、 または「ピン留めを外す」 オプションで追加したり、削除したりできます。

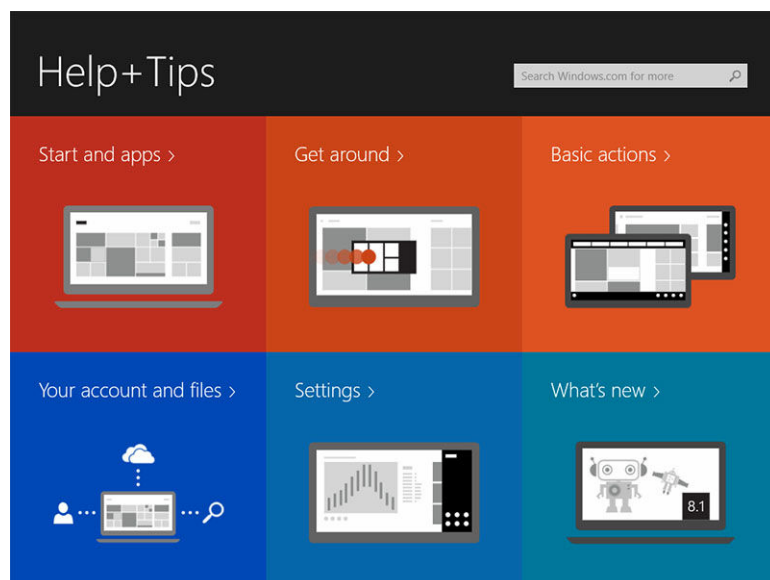
### スタート画面にアクセスする方法

次のいずれかの方法でスタート画面にアクセスします。

- **Windows** ボタンを  押します。
- ディスプレイの右端からスワイプしてチャームバーにアクセスし、**スタートアイコン**を  タッチします。

## Windows 8.1 を知る



スタート画面のヘルプ + ヒントのタイルをタッチして、Windows 8.1 の使い方のヘルプとヒントを入手でき






ます。

### 右にスワイプ

ディスプレイの右端からスワイプインすると、にチャームバーが表示されます。チャームメニューからスタート、検索、共有、デバイス、設定オプションなどのシステムコマンドにアクセスできます。


タブレットがアプリケーションを実行中またはアクションを実行中の場合は、**スタートアイコン**を押すと  スタート画面に戻ります。スタート画面の場合は、**スタートアイコン**を押すと  一番最近使用したアプリケーションまたは最後の表示画面を表示します。

 **メモ:** スタートアイコンの機能は  **Windows** ボタンと同じ  です。

### 左にスワイプ


- ディスプレイの左端から右端にゆっくりスワイプすると オープンアプリケーションのサムネイルが表示され、サムネイル画像が切り替わります。
- ディスプレイの左端からスワイプイン、アウトすると、最近使用したアプリケーションのリストが表示されます。

### スワイプアップ / ダウン



- ディスプレイの下端または上端からスワイプインして、**すべてのアプリケーションアイコン**を表示します 。 **すべてのアプリケーション**をタッチして、タブレットにインストールされているすべてのアプリケーションをアルファベット順に一覧表示します。
- アプリケーションドックの上端から下端にスワイプインするか、またはアプリケーションを閉じます。

Windows スタート画面の使用に関する詳細は、[windows.microsoft.com/en-us/windows-8/start-screen-tutorial](http://windows.microsoft.com/en-us/windows-8/start-screen-tutorial) にアクセスしてください。

画面がロックモードの場合、カメラ（前面）を有効にできます。画面がロックモードの場合に、カメラを有効にするには：

1. ディスプレイの右端からスワイプしてチャームバーにアクセスします。
2. **設定**  → **PC 設定の変更** → **PC およびデバイス**の順にクリックします。
3. 下にスクロールして、**カメラ**に移動します。
4. スワイプしてオンにして、ロック画面モード中にカメラを使用します。


ロック画面モード中にカメラを使用できるか確認するには：

1. **電源** ボタンを  押して画面をオフにします。
2. **電源** ボタンを  もう一度押すてロック画面モードを有効にします。
3. スワイプダウンして**カメラ**を有効にします。

## 分割画面

分割画面オプションで、2つのアプリケーションを同じ画面で開き、複数の作業を行うことができます。画面を分割するには：

1. 分割画面で実行したい2つのアプリケーションを開きます。
2. 左側からスワイプして2つ目のアプリケーションを開き、画面が分割されるまで指を置いたままにします。
3. 指を離して、2つ目のアプリケーションをドロップします。

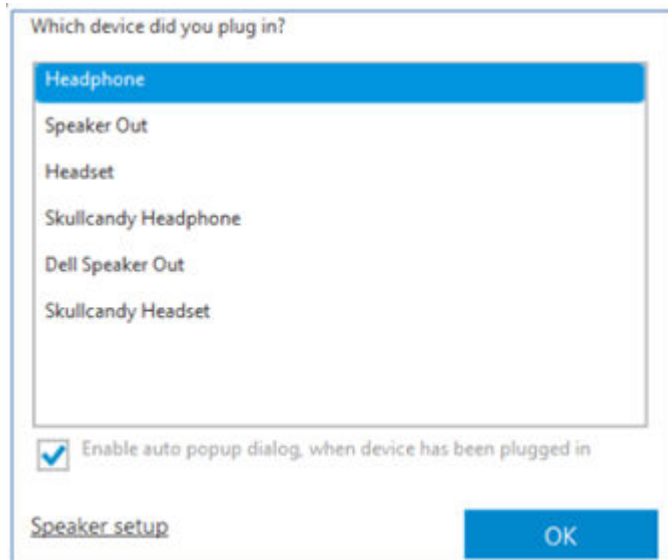
 **メモ:** Windows 8.1 では画面を様々な幅に分割できます。


## ヘッドフォンの使用


ヘッドフォンを使用して、音楽やサウンドを聞く、音声を録音する、または電話をかけることが可能です。

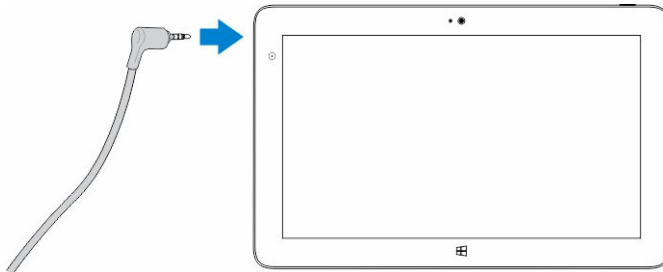
オーディオポートにデバイスを接続すると、ポップアップウィンドウにオプションが表示されます。適切なオプションを選択し、**OK**をクリックします。







 **メモ:** これらはタブレットのデフォルトのオプションで、オーディオポートにデバイスを接続する場合のみ表示されます。デバイスに応じていずれかのオプションを選択できます。


 **警告:** 大きな音を長期間聞くと聴力低下につながる可能性があります。




1. ヘッドフォンをタブレットのオーディオポート（3.5 mm）に接続します。
2. イヤフォンを耳に付けて、ボリュームを快適なレベルに調節します。


 **メモ:** ヘッドフォンや外付けオーディオデバイスをオーディオコネクタに接続すると、タブレットの内蔵スピーカは自動的に無音になります。



 **注意:** ヘッドフォンへの損傷を防ぐため、タブレットから外す際は、ケーブルではなくコネクタを引っ張ってください。

 **メモ:** ボリュームを下げってからヘッドフォンを差し込み、快適なレベルに調節することをお勧めします。突然大きな音にさらされると、聴力を損なう可能性があります。

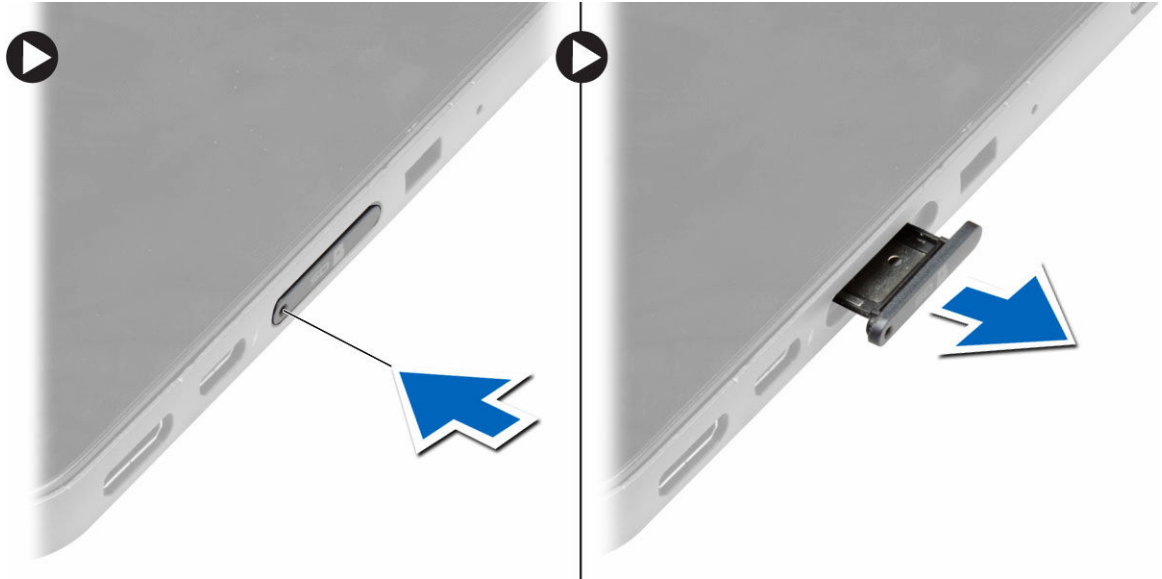
## マイクロ SD カード取り外し

 **注意:** マイクロ SD データの転送により、データの損失、またはアプリケーションのエラーが発生する恐れがある場合にマイクロ SD カードを取り外します。タブレットがすべての操作をマイクロ SD カードに保存し終えていることを確認してください。

1. デスクトップモードにします。画面の右下隅にある通知領域のハードウェアの安全な取り外し  をタッチします。

 **メモ:** ハードウェアの安全な取り外しが見つからない場合は、 **隠しアイコンの表示** をタッチして、通知領域にすべてのアイコンを表示します。

2. **SD メモリカードの取り出し** をタッチします。マイクロ SD カードを安全に取り出せることを示すメッセージが表示されます。マイクロ SD カードの取り出しができないことを示す警告メッセージが表示された場合は、マイクロ SD カードへのすべてのデータの転送が完了していることを確認してください。
3. 小さなペーパークリップの先を、マイクロ SD スロットカバーの小さな穴に差し込みます。
4. マイクロ SD トレイが出てくるまで、先端を穴に押し込みます。マイクロ SD カードトレイを引き出します。
5. マイクロ SD カードをトレイから取り出します。

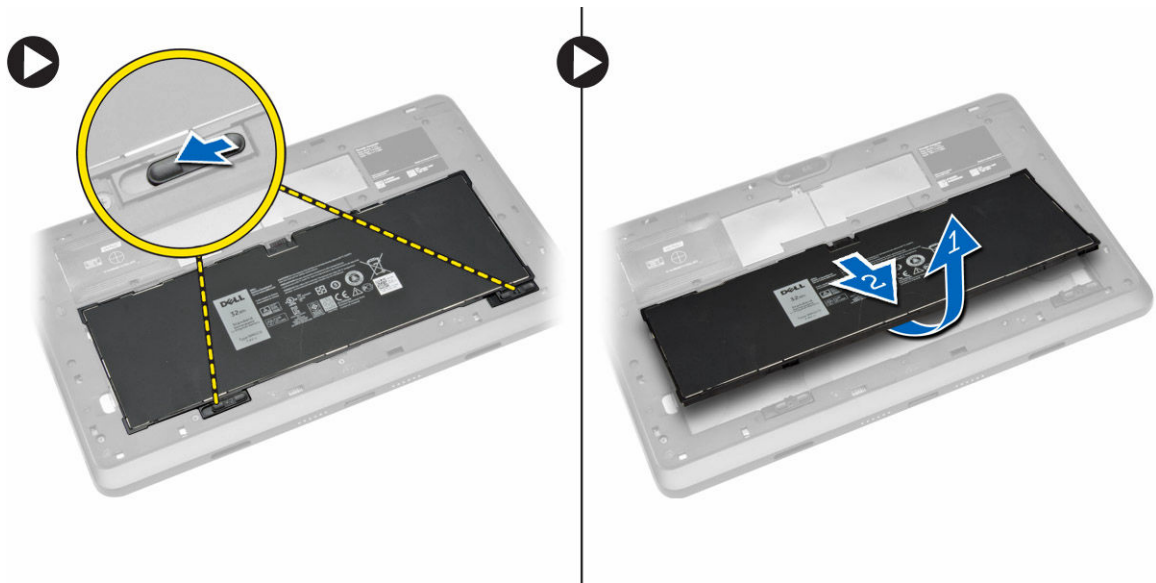


## マイクロ SD カードトレイの取り付け

1. SD カードトレイに SD カードを置きます。
2. SD カードトレイが所定の位置にカチッと収まるまで押します。

## バッテリーの取り外し

1. 「タブレット内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. ベースカバーを取り外します。
3. 次の手順を実行します。
  - a. リリースラッチを指示方向にスライドさせて、バッテリーのロックを解除します。
  - b. バッテリーを前方に押して、システム基板のコネクタから解除します。
  - c. バッテリーを持ち上げて、タブレットから取り外します。



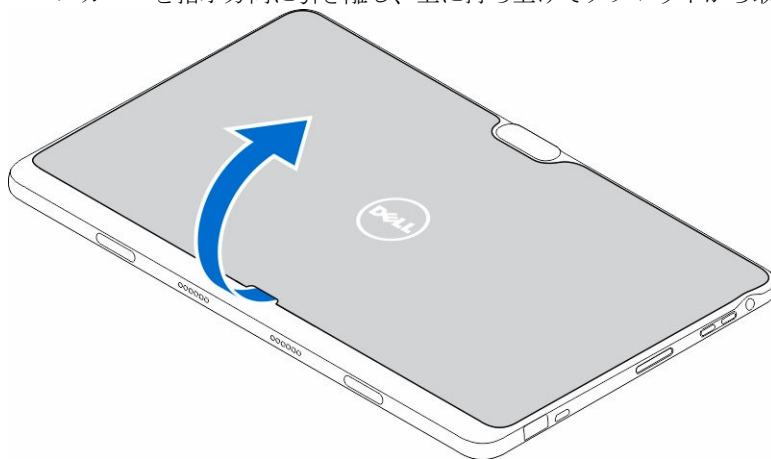
## バッテリーの取り付け

1. カチッと所定の位置に収まるまで、バッテリーをスロットにスライドさせます。
2. ベースカバーを取り付けます。

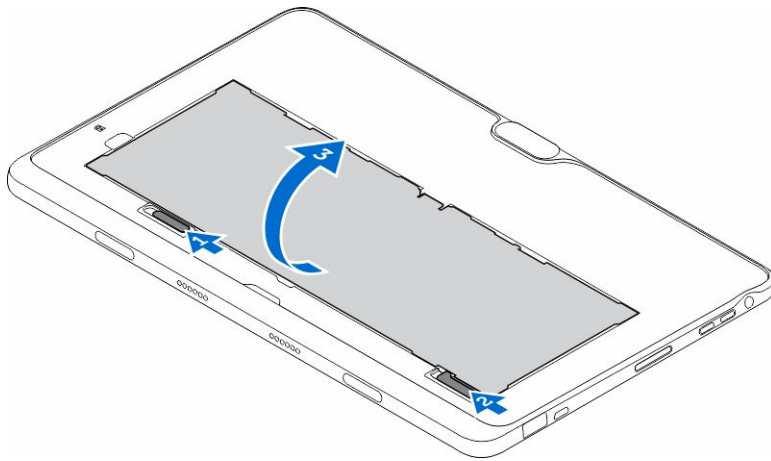
## マイクロ SIM カードの取り付け

△ 注意: タブレットがデータを損失またはカードを損傷する恐れがある場合は、マイクロ SIM カードを取り出します。タブレットの電源が切れている、またはネットワーク接続が無効になっていることを確認してください。

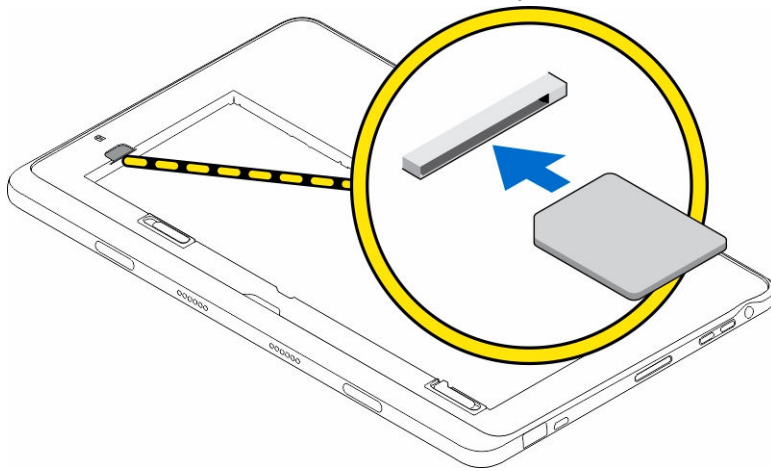
1. タブレットの電源を切ります。タブレットの電源オフに関する詳細は、[タブレットの電源を切る](#)を参照してください。
2. ベースカバーを指示方向に引き離し、上に持ち上げてタブレットから取り外します。



3. リリースラッチをスライドさせて、バッテリーのロックを解除します。バッテリーを持ち上げて、タブレットから取り外します。




4. マイクロ SIM カードをスロットに取り付けます。

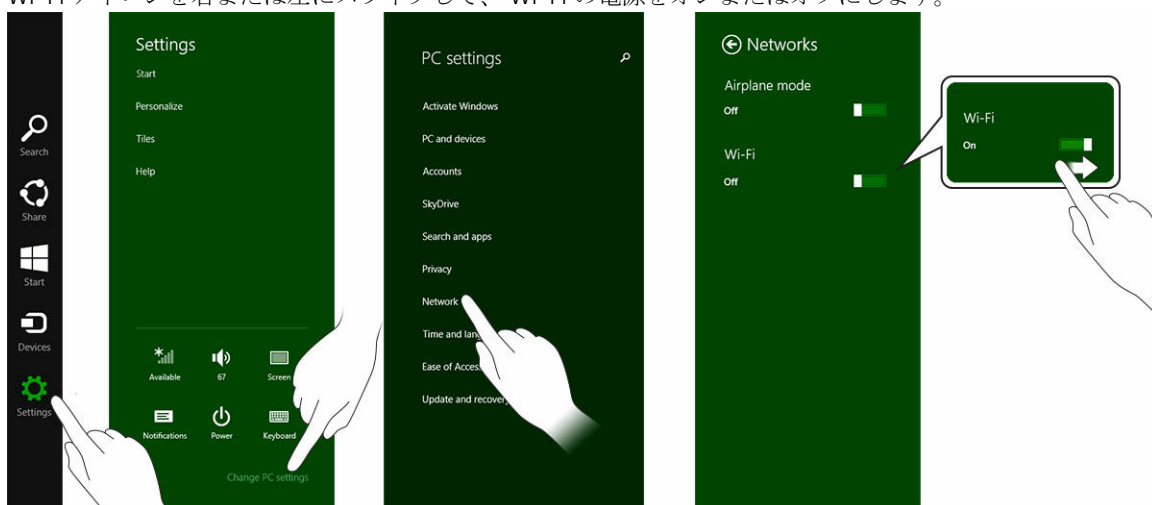


## タブレット設定の管理



### Wi-Fi 設定

#### Wi-Fi のをオン / オフにする

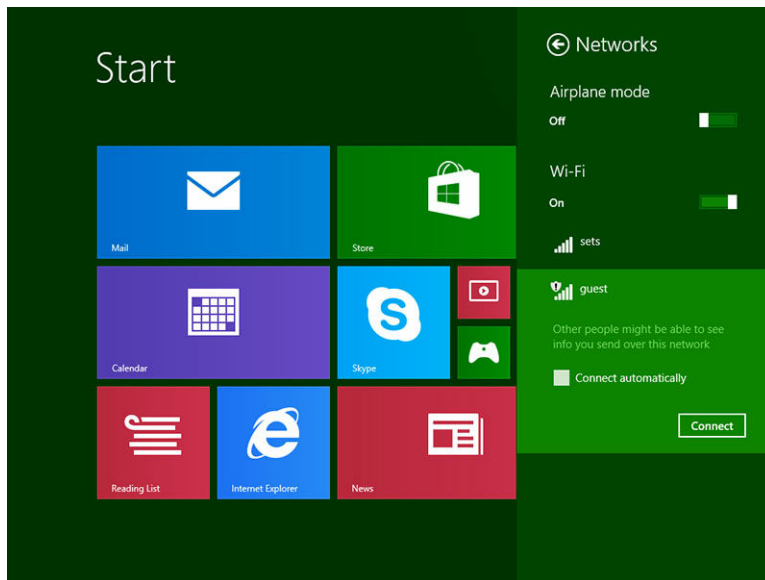
1. ディスプレイの右端からスワイプしてチャームバーにアクセスします。
2. 設定  → PC 設定の変更 → ネットワーク → 機内モードの順にタッチします。
3. Wi-Fi アイコンを右または左にスワイプして、Wi-Fi の電源をオンまたはオフにします。



#### ネットワークへの接続


1. ディスプレイの右端からスワイプしてチャームバーにアクセスします。
2. 設定  → 利用可能  → 利用可能なネットワークの選択 → 接続の順にタッチします

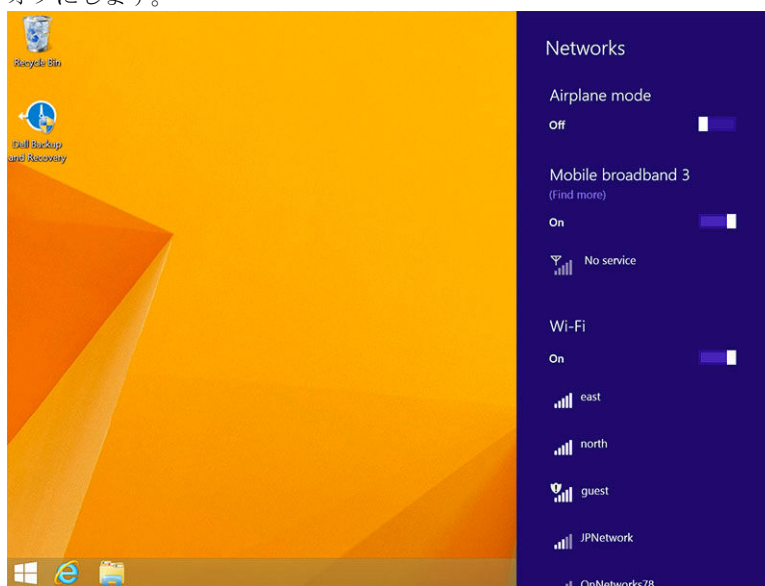
。



## モバイルブロードバンド設定



### モバイルブロードバンドをオン/オフにする

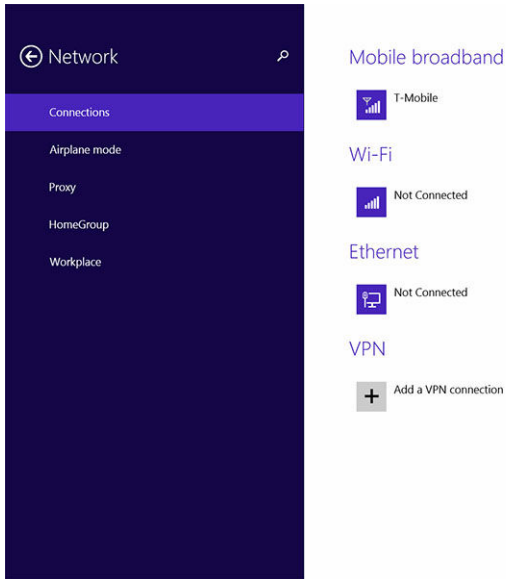
1. ディスプレイの右端からスワイプしてチャームバーにアクセスします。
2. 設定  → PC 設定の変更 → ネットワーク → 機内モードの順にタッチします。
3. モバイルブロードバンドアイコンを右または左にスワイプして、モバイルブロードバンドをオンまたはオフにします。





### モバイルブロードバンドネットワークへの接続




1. アクティブな SIM カードがタブレットに挿入されていることを確認します。

2. ディスプレイの右端からスワイプしてチャームバーにアクセスします。
3. 設定  → ネットワーク → 接続  → サービスプロバイダ → 接続するの順にタッチします。
4. モバイルブロードバンドネットワークを有効に設定すると、推定のデータ使用量が表示されます。






-  **メモ:** 自動的に接続オプションを選択すると、モバイルブロードバンドを自動的に接続できます。
-  **メモ:** Wi-Fi ネットワークとモバイルブロードバンドの両方を利用可能な場合、タブレットは自動的に Wi-Fi ネットワークを優先します。タブレットがモバイルブロードバンドに接続されていて、保存済みの Wi-Fi 接続のいずれかが範囲内にある場合、タブレットはモバイルネットワークから切断し、自動的に Wi-Fi に接続します。

## モバイルブロードバンドネットワークから切断する


1. ディスプレイの右端からスワイプしてチャームバーにアクセスします。
  2. 設定  → ネットワーク  → サービスプロバイダ → 切断するの順にタッチします。
-  **メモ:** タブレットをモバイルブロードバンドから切断すると、オプションの自動的に接続するも無効になります。

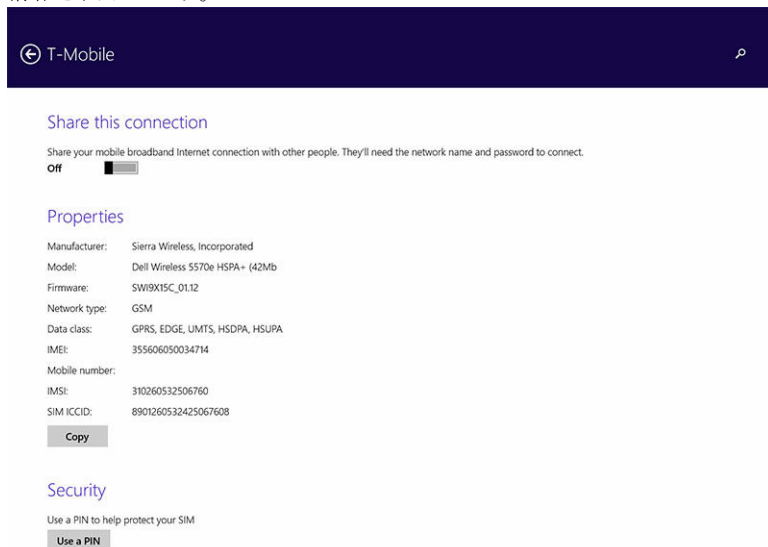
## モバイルブロードバンドのオプション

1. ディスプレイの右端からスワイプしてチャームバーにアクセスします。
2. 設定  → ネットワーク .
3. サービスプロバイダをタッチし続けるか、またはドッキングされている場合は、右クリックします。
  - 推定データ使用量を表示 / 非表示をタッチして、データ使用量を表示または非表示にします。
  - 従量制接続 / 非従量制接続として設定をタッチして、従量制接続 / 非従量制接続として特定の接続を設定します。
  - 接続プロパティを表示をタッチして、接続されているモバイルブロードバンドのプロパティを表示します。



-  **メモ:** オプションの**従量制接続**として**設定**が有効になっている場合、優先度が高く、重要なセキュリティ更新でなければ、Windows Update は更新を自動でダウンロードしません。


## サービスプロバイダのハードウェア情報


1. ディスプレイの右端からスワイプしてチャームバーにアクセスします。
2. **設定**  → **PC 設定の変更** → **ネットワーク**の順にタッチします。
3. **サービスプロバイダ**をタッチして、契約者情報、国際移動体装置識別 (IMEI) 番号を含むハードウェア情報を表示します。




## PIN ロックを有効にする

1. ディスプレイの右端からスワイプしてチャームバーにアクセスします。
2. **設定**  → **ネットワーク** .
3. **サービスプロバイダ**をタッチし続けるか、またはドッキングされている場合は、右クリックします。
4. **接続プロパティ**を表示→**セキュリティ**→**PIN の使用**の順にタッチします。
5. **SIM PIN** コードを入力します。

-  **メモ:** サービスプロバイダとは、あなたがいる場所で使用可能なネットワークのサービスプロバイダを指します。


-  **注意:** 誤った PIN コードを入力すると、モバイルブロードバンド接続は確立されません。コードの入力に3回失敗すると、SIM カードがロックされます。SIM カードのロックを解除するには、サービスプロバイダに問い合わせ、PIN ロック解除キー (PUK) を取得し SIM カードのロックを解除します。

-  **メモ:** お問い合わせになる前に、IMEI 番号を用意してください。

## タブレットのリフレッシュ / リカバリ / 再設定

タブレットを工場出荷時の設定にリフレッシュ / リカバリ / 復元できます。



1. ディスプレイの右端からスワイプしてチャームバーにアクセスします。
2. **設定**  → **PC 設定の変更** → **アップデートおよびリカバリ** → **リカバリ**の順にタッチします。
  - ファイルに影響を与えることなく PC をリフレッシュする
  - すべてを削除して Windows を再インストールする
  - アドバンスト起動
3. すべてのリカバリオプションを選択してタスクを完了します。

## ファイルに影響を与えることなく PC をリフレッシュする

このオプションにより、写真、音楽、ビデオ、およびその他の個人ファイルを失うことなくタブレットリフレッシュできます。このアクションを実行したい場合は、次のようにします。

1. **開始**をクリックします。「PC をリフレッシュ」ウィンドウが開きます。
2. **次へ**をクリックします。
3. **更新**をクリックします。

**キャンセル**をクリックして、このアクションをキャンセルします。


## すべてを削除して Windows を再インストールする

このオプションにより、タブレットを完全にリサイクルまたは再始動することができ、デフォルト / 出荷時設定にリセットできます。このアクションを実行したい場合は、次のようにします。

1. **開始**をクリックします。[PC をリセット]ウィンドウが開きます。
2. **次へ**をクリックします。

**次へ**をクリックしたら、次の 2 つのオプションのいずれかを選択し、タスクを終了します。


- **ファイルの削除のみ行う** — このオプションを選択すると、Windows は写真、音楽、ビデオ、およびその他の個人ファイルを含むファイルをすべて削除します。
- **ドライブを完全にクリーンアップする** — このオプションを選択すると、Windows はタブレットをリセットします。

 **注意:** タブレットをリセットすると、アカウント設定、音楽、写真、ファイルなどを含むすべてのデータをタブレットから消去します。リセットを行う前に、必要なデータは必ずすべてバックアップしてください。

**キャンセル**をクリックして、このアクションをキャンセルします。

## アドバンスト起動


このオプションによりデバイスまたはコンパクトディスク (DVD または USB ドライブなど) からの起動が可能になり、タブレットのファームウェア設定の変更、Windows スタートアップ設定の変更、システムイメージからの Windows の復元が可能になります。このアクションを実行したい場合は、**今すぐ再起動**をクリックします。



 **メモ:** サードパーティアプリケーションが削除されます。

## タブレットの同期化

### Microsoft アカウントの使用

お使いのコンピュータに Microsoft Windows 8.1 がインストールされている場合、タブレットのユーザー設定を Microsoft アカウントを使用しているコンピュータと同期させることができます。タブレットの Microsoft アカウントでサインインすると、インターネットブラウザの履歴やアプリケーション設定、個人ファイルなどを含む設定を、他の Windows 8.1 PC や Windows 8.1 タブレットと自動的に同期させることができます。

 **メモ:** お使いのコンピュータとタブレットの両方にワイヤレス接続が必要です。

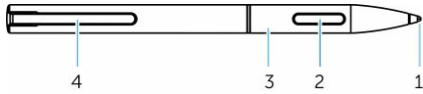
1. チャームバーに移動して、**設定**  → **PC 設定の変更** → **アカウント** → **Microsoft アカウントに接続** の順にクリックして、コンピュータのローカルアカウントを Microsoft アカウントに切り替えることができます。
2. **設定の同期化**と呼ばれる新しいオプションが、**PC 設定**に追加されます。
3. **設定**  → **PC 設定の変更** → **PC の詳細設定** → **設定の同期化**の順にクリックして、データと設定の同期化用のすべての種類のトグルを表示します。

### 音楽、写真、およびビデオのコピー


1. USB キー、またはマイクロ SD カードをコンピュータに接続して、必要なファイルをコピーします。
2. コピーが完了したら、「**ハードウェアの安全な取り外し**」ウィザードを使用して、タブレットをコンピュータから取り外します。
3. Windows 8.1 の Skydrive 機能を使用して、音楽、写真、およびビデオをコピーすることもできます。


## スタイラス機能（オプション）

本項では、スタイラスで利用可能な機能について説明します。

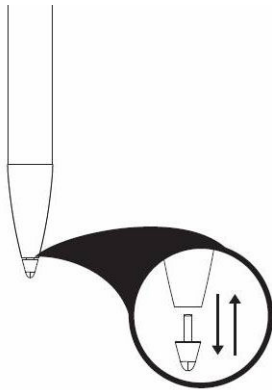


| 機能                   | 機能性                        |
|----------------------|----------------------------|
| 1 ペンリード              | タッチ機能を提供します。               |
| 2 ペンボタン              | 左クリックと右クリックの実行に使用します。      |
| 3 ミドルバレル             | バッテリーコンパートメントへのアクセスを提供します。 |
| 4 ペンクリップ / ペンのリアキャップ | ポケットのスタイラスの固定に使用します。       |

 **メモ:** スタイラスはオプションで、別売りです。

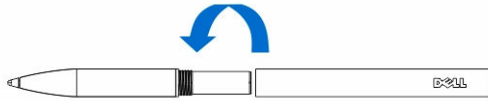
 **メモ:** このスタイラスは、Dell Venue 11 pro-5130 および Dell Venue 11 pro-7130/7139 タブレットでのみ使用できます。Dell タブレットの前のシリーズには対応していません。また、他の Dell タブレット用に購入したスタイラスは Dell Venue 11 pro-5130 および Dell Venue 11 pro-7130/7139 タブレットに対応していません。

下図に示すように、スタイラスペンリードを交換できます。




### スタイラスの使用準備

1. ミドルバレルを反時計回りに回します。

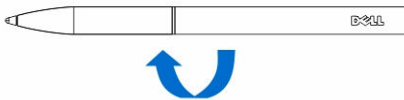


2. プラス側をペン先に向けて AAAA 電池を入れます。



 **メモ:** 電池廃棄物の処理についてはお住まいの地域の法律および規制に従ってください。

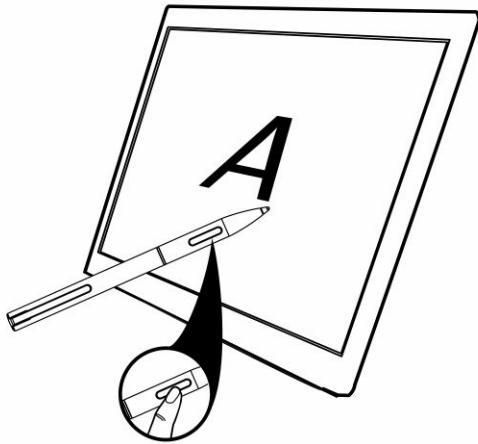
3. バレルをしっかりと組み立て直します。



## タブレットでのスタイラス（オプション）の使用

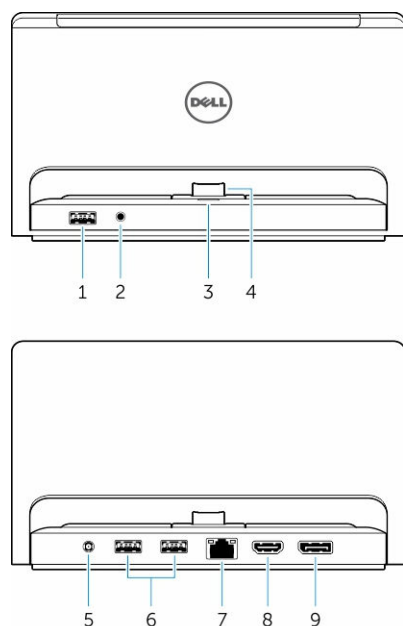
スタイラスは、タブレットでの長時間の作業用に人間工学に基づいて設計されています。ユーザーは、手動モードの切り替えなしでペン入力と指入力をスムーズに切り替えることが可能です。スタイラスは、業界最高レベルの正確さとキャリブレーションの必要のない使いやすさを可能にする、パームリジェクション、ホバリング、筆圧感知などの機能に対応しています。2つのボタンは、消去、ハイライト、マウスクリックの実行などの機能を使用するために設定可能なソフトウェアです。スタイラスの先端を使って、タブレットで絵を描いたり、テキストを選択したり、ページをめくったり、文書を書いて署名したりすることが可能です。

また、スタイラスの側面にあるボタンを押して、タブレットで左クリックおよび右クリック機能を実行できます。



## デスクトップドックの機能

このセクションでは、デスクトップドックで利用可能な機能について説明します。



### 機能

- 1 USB 3.0 コネクタ
- 2 オーディオコネクタ
- 3 電源ステータスライト
- 4 ドッキングコネクタ
- 5 電源コネクタ
- 6 USB 3.0 コネクタ
- 7 ネットワークコネクタ
- 8 HDMI コネクタ
- 9 DisplayPort コネクタ

### 機能性

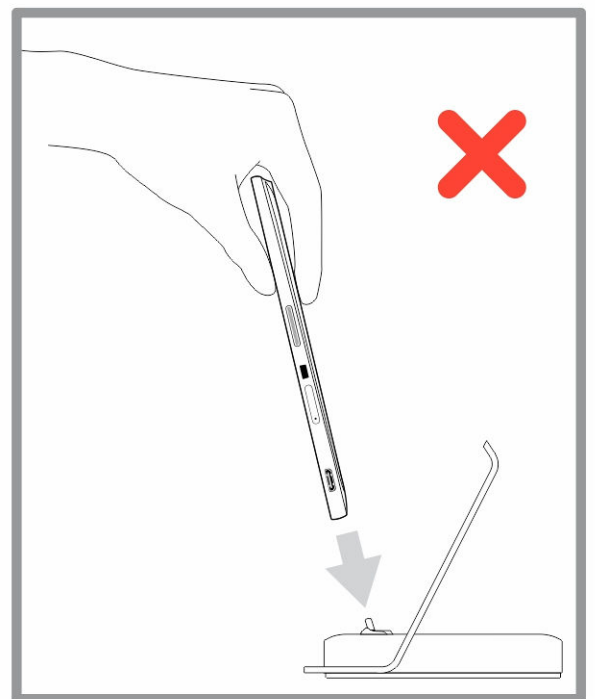
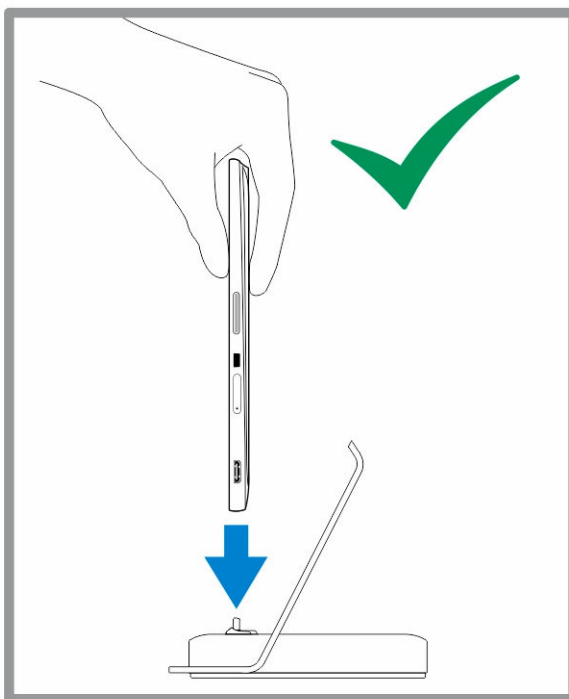
- フラッシュメモリなどの USB デバイスを接続します。
- ヘッドフォンや外付けスピーカを接続します。
- 電源ステータスを示します。
- タブレットにドッキングコネクタを接続します。
- AC アダプタを接続します。
- フラッシュメモリなどの USB デバイスを接続します。
- インターネットアクセス用の Ethernet ケーブルを接続します。
- プロジェクタ、TV、モニターなどの HDMI 対応のデバイスを接続します。
- プロジェクタ、TV、モニターなどの DisplayPort 対応のデバイスを接続します。

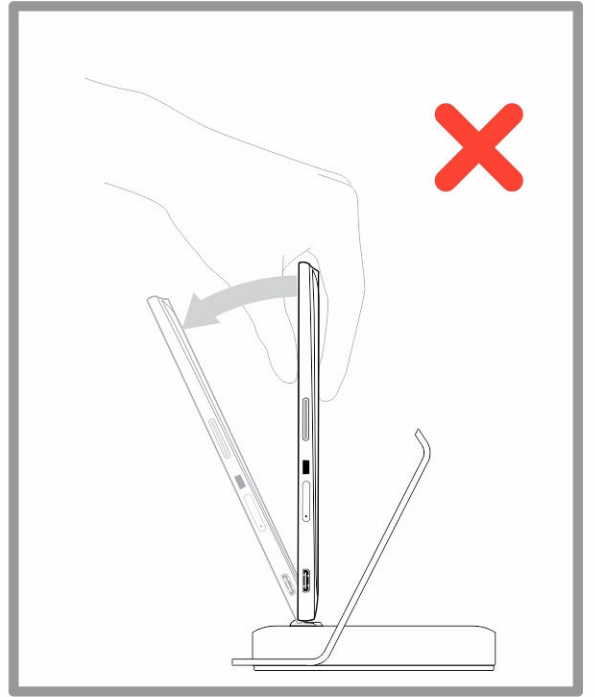
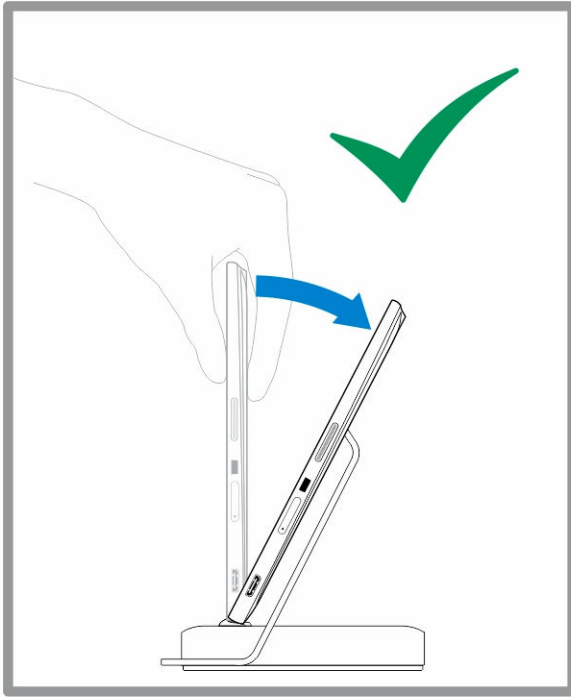
**メモ:** ディスプレイポート出力は、DisplayPort またはアクティブ DisplayPort アダプタへのダイレクト DisplayPort のみ対応しています。ディスプレイポートはパッシブアダプタに対応していません。

- **メモ:** デスクトップドックは、Venue Pro 11-5130 にドッキングされている場合、USB 2.0 のみ対応します。
- **メモ:** デスクトップドックは別売ですので、タブレットに同梱されていません。
- **メモ:** Venue Pro 11-5130 では、HDMI コネクタ、または DisplayPort コネクタを使って、同じ外付けディスプレイを映すことができます。Venue Pro 11-7130/7139 では、HDMI コネクタ、または DisplayPort コネクタで独自のコンテンツディスプレイを使用できます。

## タブレットのドッキング

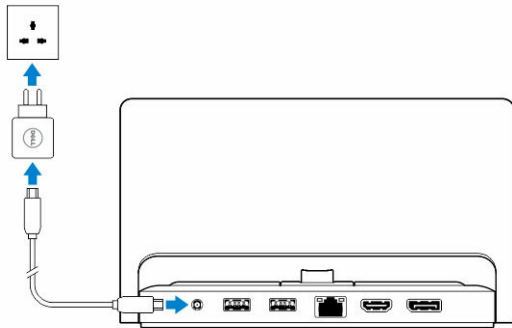
次の画像は、タブレットをドッキングする方法を示しています。





## 電源アダプタの接続

電源アダプタの一方の端を壁のコンセントに接続し、もう一方の端をデスクトップドックの電源コネクタポートに接続します。



## 薄型トラベルキーボードドックの機能

本項では、薄型キーボードドックで利用可能な機能について説明します。

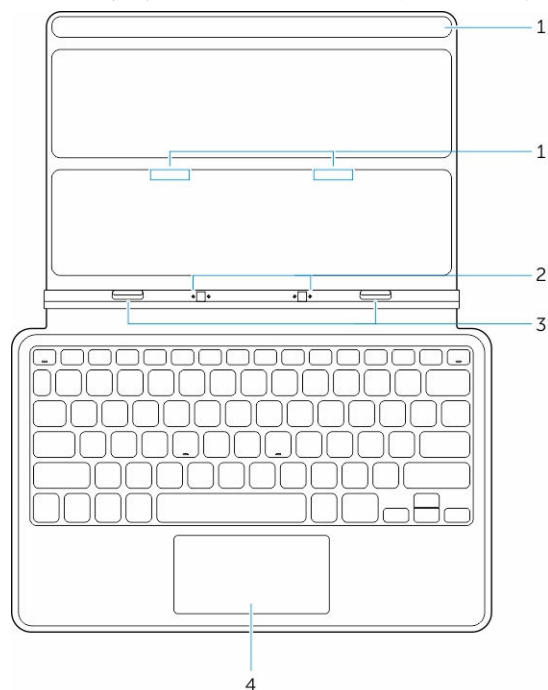


表 1.

| 機能          | 機能性                                  |
|-------------|--------------------------------------|
| 1 マグネット     | ドッキングを可能にするマグネット。                    |
| 2 ドッキングピン   | タブレットをドックと電氣的に接続させます。                |
| 3 ドッキングコネクタ | タブレットにドッキングコネクタを接続します。               |
| 4 タッチパッド    | 画面上でマウスポインタを移動できるようにして、マウスの機能を提供します。 |

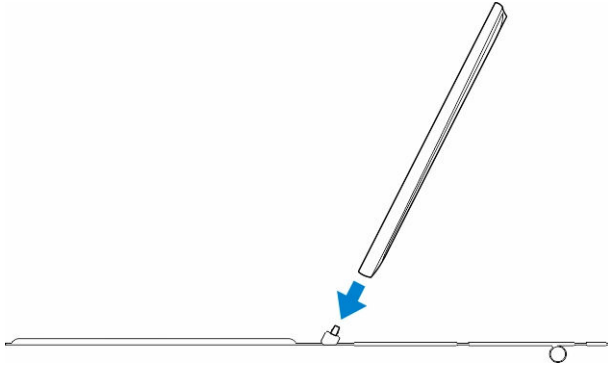
**メモ:** 薄型トラベルキーボードドックは別売ですので、タブレットには同梱されていません。

### タブレットを薄型トラベルキーボードドックにドッキングする

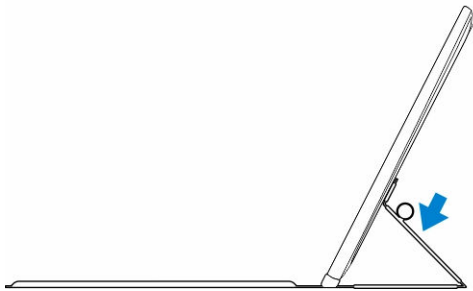
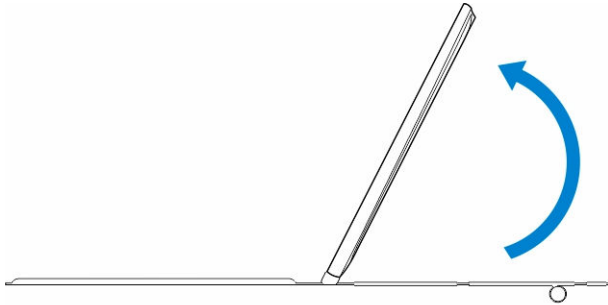
1. タブレットの2つのドッキングコネクタを、ドックの2つのドッキングコネクタに合わせます。




2. タブレットが所定の位置にカチッと収まるまで下方方向にスライドさせます。



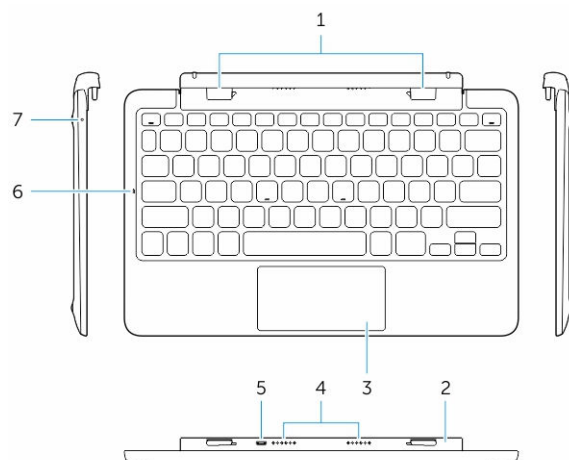
3. キーボードカバーを取り付けて、下にスライドさせドックをタブレットに取り付けます。



-  **メモ:** 接続が確立した時点で、オンスクリーンキーボードが画面に表示されている場合は、手動でオフにする必要があります。

## モバイルキーボードドックの機能

本項では、キーボードドックで利用可能な機能について説明します。



### 機能

1 ドッキングコネクタ

2 回転ヒンジ

3 タッチパッド

4 ドックピン

5 マイクロ USB 電源コネクタ

6 キャップスロック LED

7 バッテリー充電 LED

### 機能性

タブレットのドッキングガイドスロットを接続します。

タブレットをヒンジの周りで回転できるようにします。


画面上でマウスポインタを移動できるようにして、マウスの機能を提供します。


タブレットをドックと電氣的に接続させます。

マイクロ USB 充電器に接続して、ドックを充電します。

キーボードのキャップスロックキーがオンになっているかどうかを表示します。

AC 電源が接続されていてバッテリーが充電されていることを示します。

 **メモ:** タブレットを 90 度の角度でドッキングする方が簡単ですのでお勧め致します。

 **メモ:** キーボードドックは別売ですので、タブレットには同梱されていません。

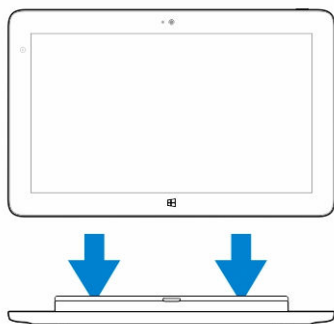
## タブレットをキーボードドックにドッキングする

1. キーボードドックを 90 度の角度まで回転させます。



**メモ:** タブレットをキーボードドックにドッキングすると、ヒンジが開いた状態になります。

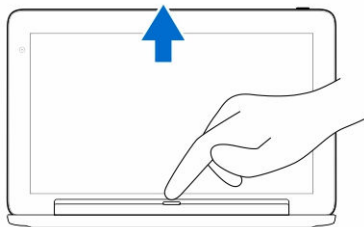
2. タブレットをキーボードドックにドッキングします。



**メモ:** 接続が確立した時点で、オンスクリーンキーボードが画面に表示されている場合は、手動でオフにする必要があります。

## タブレットをキーボードドックからドッキング解除する

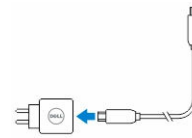
1. モバイルキーボードドックのボタンを押し続けます。



2. タブレットを持ち上げてモバイルキーボードドックから取り外します。


## ドックの充電

**△ 注意:** 付属の電源アダプタと電源ケーブルを使用して、タブレットとドックを充電してください。無認可の電源アダプタや電源ケーブルを使用すると、タブレットやドックに深刻な損傷を与える場合があります。



1. 電源アダプタをキーボードドックのマイクロ USB 充電ポートに接続します。
2. AC 電源がタブレットに取り付けられている場合、キーボードドックはタブレットから充電します。

**メモ:** タブレットがドッキングしている場合、電源を直接トラベルキーボードに取り付けることはできません。

 **メモ:** ドックのバッテリーのフル充電にはおよそ 4 時間かかります。

タブレットのバッテリーの充電時間の詳細は、「タブレットの充電」を参照してください。

キーボードドックのバッテリーステータスは次のように確認できます。

- キーボードドックの左側にあるバッテリー充電ライト：

| LED の動作 | 説明  |
|---------|---|
| 白一色が点灯  | AC アダプタが直接ドックに接続されている場合、バッテリーは AC 電源で充電しています。                               |
| オフ      | バッテリーが充電されていません。AC アダプタが接続されていないか、バッテリーが完全に充電されているか、AC 電源が直接タブレットに接続されています。 |

タブレットのバッテリーステータスの確認に関する詳細は、[タブレットのバッテリー充電ステータス](#)を参照してください。


## バッテリーの動作


AC 電源が接続されている場合、まずタブレットを充電して、次にドックを充電します。放電中、または AC 電源が接続されていない場合、まずドックのバッテリーを使用して、次にタブレットのバッテリーを使用します。

## タブレットのクリーニング

△ 注意: すべてのケーブルを外してから、タブレットのクリーニングを行ってください。タブレットは水で湿らせたやわらかい布を使って拭きます。可燃性物質を含んでいる可能性のある液体クリーナーやエアゾールクリーナーは使用しないでください。

1. タブレットの電源を切ります。タブレットの電源オフに関する詳細は、**タブレットの電源を切る**を参照してください。
2. 取り付けられているすべてのデバイス、ヘッドフォン、スピーカ、キーボードドックをタブレットとコンセントから抜きます。
3. 差し込まれているすべてのマイクロ SD カードとマイクロ SIM カードを取り出します。マイクロ SD カードとマイクロ SIM カードの取り出しに関する詳細は、**マイクロ SD カードの取り出しとマイクロ SIM カードの取り出し**を参照してください。
4. 柔らかく糸くずの出ない布を水、またはディスプレイ用クリーナーで湿らせて、タブレットの表面がきれいになるまで拭きます。布の水がタブレットポートや周辺の **Windows** ボタンに滴下しないようにしてください。

 **メモ:** タブレットやディスプレイの損傷を避けるため、製品に付属されている説明書に従ってください。

 **メモ:** 湿った布でキーボードをクリーニングしないでください。

## トラブルシューティング

### バッテリーの問題

#### 問題

バッテリーが充電されない

#### 考えられる原因

タブレットの温度が 0°C 以下または 40°C より高くなっています。

バッテリーまたは電源アダプタが損傷しています。

タブレットがスタンバイモードでもバッテリーの減りが早い


タブレットがネットワークに接続できる範囲にない場合、タブレットは信号を送

#### 可能な対策

- Dell AC 電源アダプタのプラグを壁から抜いて、コンセントが機能していることを確認します。
- すべてのケーブル接続を確認し、プラグを壁に差し戻してからタブレットに戻します。
- AC アダプタの LED ライトを確認して、AC アダプタが作動していることを確認します。
- すべてのコネクタを確認し、適切に接続されていることを確認します。

AC アダプタが動作していてバッテリーが充電されない場合は、次のようにします。

- バッテリーを取り外してから、再度挿入し、バッテリーが正しくコネクタに取り付けられているか確認します。
- 別のバッテリーに交換します (利用可能な場合)。

 **メモ:** タブレットのバッテリーのフル充電にはおよそ 4 時間かかります。

0 ~ 40°C の周辺温度でバッテリーを充電します。

デルの認定再販業者に問い合わせ、バッテリーまたは電源アダプタを交換してください。

- タブレットの電源を一時的に切ります。
- タブレットをネットワークに接続できる範囲に移動さ

信して基地局を探し続けるためバッテリーが減ります。

せるか、またはタブレットのワイヤレス接続を一時的にオフにします。

- 機内モードでタブレットを使用します。

## システムの問題

| 問題                     | 考えられる原因  | 可能な対策  |
|------------------------|--|--|
| タブレットの電源が入らない          | バッテリー充電が 0 です。   | <ol style="list-style-type: none"><li>1. タブレットを少なくとも 4 時間充電してください。</li><li>2. <b>電源</b> ボタンを 4 秒間押ししてください。</li></ol>   |
| タブレットの電源が切れない          |  | <b>電源</b> ボタンを 11 秒間押しすると、ハードシャットダウンを行います。   |
| タブレットがロックアップする         |  | <ol style="list-style-type: none"><li>1. 電源ボタンを 11 秒間押しすると、ハードシャットダウンを行います。</li><li>2. 電源を取り外して、バッテリーのプラグを抜き差しします。</li></ol>   |
| タブレットが突然反応しない、または作動しない | <ul style="list-style-type: none"><li>• ドライバの不具合</li><li>• オペレーティングシステムの不具合</li><li>• ウイルス / マルウェア</li></ul> | <ol style="list-style-type: none"><li>1. タブレットをシャットダウンして、再起動します。</li><li>2. タブレットを更新します。</li><li>3. デルのサポートサービスにお問い合わせください。<br/><a href="http://dell.com/support">dell.com/support</a> または <a href="http://dell.com/contactdell">dell.com/contactdell</a> にアクセスしてください。</li></ol> |
| ソフトウェアまたは機能が正しく動作していない |  | タブレットを再起動します。ソフトウェアのアップデートがバックグラウンドでダウンロードされている場合があります。ディスプレイの右端からスワイプして、チャームバーにアクセスし、 <b>設定</b> → <b>電源</b> → <b>再起動</b> の順にタッチして、タブレットを再起動します。   |
| ドッキングステーションが正しく動作していない |  | タブレットをアンドックしてもう一度ドッキングします。不具合が引き続き発生する場合は、ドック上でタブレットの電源を一旦切って入れ直します。   |

## タッチスクリーンの問題

| 問題                         | 考えられる原因                   | 可能な対策  |
|----------------------------|---------------------------|--|
| タッチスクリーンの反応が遅い、または正しく反応しない | 保護カバーによりタブレットが入力を認識できません。 | <ul style="list-style-type: none"><li>• タブレットをシャットダウンして再起動します。</li><li>• 清潔な乾いた布でディスプレイを優しく拭きます。</li><li>• 保護カバーをタッチスクリーンから取り外します。</li><li>• オペレーティングシステムを再インストールする場合、すべてのドライバがインストールされていることを確認してください。</li></ul> |

## ネットワークの問題

| 問題               | 考えられる原因  | 可能な対策   |
|------------------|--|---|
| ワイヤレス接続がない       |  | <ol style="list-style-type: none"><li>1. 無線通信がオンであるかどうかを確認します。<a href="#">Wi-Fi 設定</a>を参照してください。</li><li>2. ワイヤレスアクセスポイントにさらに近づけます。</li><li>3. 他の既知のワイヤレスアクセスポイントに接続してみます。</li><li>4. プライベートネットワークを使用している場合は、ワイヤレスルータをリセットし、パブリックネットワークを使用している場合は、ブラウザを開いてランディングページを表示します。</li><li>5. インターネットサービスプロバイダに問い合わせます。</li></ol> |
| モバイルブロードバンド接続がない | <ul style="list-style-type: none"><li>• モバイルブロードバンドが制限されています。</li><li>• サービスプロバイダーからの信号がありません。</li></ul> | <ol style="list-style-type: none"><li>1. モバイルブロードバンドがオンになっているかどうかを確認します。<a href="#">モバイルブロードバンド設定</a>を参照してください。</li><li>2. タブレットを信号の受信状態の良い別の場所に移動させます。</li></ol> <p>サービスプロバイダに連絡して、ブロードバンドプランを変更します。</p>   |





## セットアップユーティリティ

セットアップユーティリティでコンピュータのハードウェアを管理し BIOS レベルのオプションを指定することができます。セットアップユーティリティで次の操作が可能です：


- ハードウェアの追加または削除後に NVRAM 設定を変更する。
- システムハードウェアの構成を表示する。
- 内蔵デバイスの有効 / 無効を切り替える。
- パフォーマンスと電力管理のしきい値を設定する。
- コンピュータのセキュリティを管理する。


セットアップユーティリティオプション (BIOS) にアクセスするには：

1. タブレットをキーボードドックに接続する、または USB 対応キーボードをタブレットに接続します。
2. **電源** ボタンを  押してタブレットの電源を入れる、またはすでにタブレットの電源を入れている場合は、タブレットを再起動します。
3. Dell のロゴが表示されたら **F2** を押します。

 **メモ:** Windows がセットアップユーティリティオプションにリダイレクトされるまで、繰り返し **F2** を押す必要がある場合があります。

外付けのキーボードなしでセットアップオプション (BIOS) にアクセスするには：

1. **電源** ボタンを  押してタブレットの電源を入れる、またはすでにタブレットの電源を入れている場合は、タブレットを再起動します。
2. Dell のロゴが画面に表示されたら、**ボリュームアップ** ボタンを押し続けます。
3. F12 ブートセレクションメニューが表示されたら、**ボリュームアップ** ボタンを押してブートセレクションを BIOS セットアップオプションに変更します。

 **メモ:** ボリュームアップボタンをメニューオプションで繰り返し押します (ブートオプション、BIOS セットアップ、診断など、**ボリュームアップ** ボタンを押して希望のオプションを選択できます。)

4. **ボリュームダウン** ボタンを押してオプションを選択します。

## セットアップ(BIOS)オプション

表 2. システム情報

| オプション        | 機能                  |
|--------------|---------------------|
| BIOS Version | BIOS リビジョンを表示します。   |
| Service Tag  | タブレットのサービスタグを表示します。 |
| Asset Tag    | タブレットのアセットタグを表示します。 |

| オプション                       | 機能  |
|-----------------------------|---|
| <b>Ownership Tag</b>        | オーナーシップ情報を表示します。  |
| <b>Manufacture Date</b>     | 製造日を表示します。  |
| <b>Ownership Date</b>       | 購入日を表示します。  |
| <b>Express Service Code</b> | タブレットのエクスペ<br>スサービスコードを表示<br>します。                       |
| <b>Memory Installed</b>     | タブレットにインストールされているメモリを表示<br>します。                         |
| <b>Memory Available</b>     | タブレットで使用可能なメモリを表示します。                                   |
| <b>Memory Speed</b>         | メモリ速度を表示します。  |
| <b>Memory Channel Mode</b>  | タブレットのメモリ容量<br>を表示します。                                  |
| <b>Memory Technology</b>    | フラッシュメモリでの通<br>信用に新しいタイプのデ<br>バイスファイルを Linux<br>に表示します。 |
| <b>Processor Type</b>       | タブレットで使用可能な<br>プロセッサのタイプを表<br>示します。                     |
| <b>Core Count</b>           | タブレットのコア数を表<br>示します。                                    |
| <b>Processor ID</b>         | タブレットのプロセッサ<br>ID を表示します。                               |
| <b>Current Clock Speed</b>  | タブレットの現在のクロ<br>ック速度を表示します。                              |
| <b>Minimum Clock Speed</b>  | タブレットの最少クロッ<br>ク速度を表示します。                               |
| <b>Maximum Clock Speed</b>  | タブレットの最大クロッ<br>ク速度を表示します。                               |
| <b>Processor L2 Cache</b>   | タブレットの L2 キャッ<br>シュを表示します。                              |
| <b>Processor L3 Cache</b>   | タブレットの L3 キャッ<br>シュを表示します。                              |
| <b>HT Capable</b>           | タブレットがハイパー<br>スレッドに対応している<br>ことを表示します。                  |
| <b>64-bit Technology</b>    | 64 ビットテクノロジの<br>タブレット機能を表示し<br>ます (Intel EM64T)。        |

| オプション                     | 機能                            |
|---------------------------|-------------------------------|
| <b>Video Controller</b>   | タブレットで使用されるビデオコントローラを表示します。   |
| <b>Video BIOS Version</b> | タブレットの BIOS のバージョン番号を表示します。   |
| <b>Video Memory</b>       | タブレットのビデオメモリを表示します。           |
| <b>Panel Type</b>         | タブレットで使用されるパネルのタイプを表示します。     |
| <b>Native Resolution</b>  | タブレットの解像度を表示します。              |
| <b>Audio Controller</b>   | タブレットで使用されるオーディオコントローラを表示します。 |
| <b>Wi-Fi Device</b>       | タブレットの Wi-Fi デバイスを表示します。      |
| <b>Cellular Device</b>    | タブレットのセルラーデバイスを表示します。         |
| <b>Bluetooth Device</b>   | タブレットの Bluetooth デバイスを表示します。  |

表 3. バッテリー情報

| オプション                       | 機能                     |
|-----------------------------|------------------------|
| <b>AC Adapter</b>           | AC アダプタの情報を表示します。      |
| <b>Battery Status</b>       | 現在のバッテリーステータスを表示します。   |
| <b>Battery Charge State</b> | バッテリーの充電/非充電状態を表示します。  |
| <b>Battery Health</b>       | battery health を表示します。 |

表 4. 起動シーケンス

| オプション                   | 機能   |
|-------------------------|--|
| <b>Boot Sequence</b>    | <p>起動する OS を探す時の BIOS のデバイス検索順を表示します。オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Windows Boot Manager</li> <li>• UEFI</li> </ul> |
| <b>Boot List Option</b> | <p>起動リストオプションを変更することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Legacy (レガシー)</li> <li>• UEFI</li> </ul>                                 |

| オプション | 機能   |
|-------|--|
|       | <p>その他のオプションを実行することもできます。オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Add Boot Option (起動オプションの追加) — このオプションでは、起動オプションを追加できます。</li> <li>• Delete Boot Option (起動オプションの削除) — このオプションでは、既存の起動オプションを削除できます。</li> <li>• View (表示) — このオプションでは、起動オプションを確認することができます。</li> </ul> |

表 5. アドバンス起動オプション

| オプション   | 機能  |
|---|---|
| <p><b>Dell Venue Pro<br/>11-7130/7139 用</b></p> <p><b>Enable Legacy Option ROMs</b></p> | <p>UEFI 起動モード中に、レガシーオプション ROM を有効にするオプションで、レガシーオプション ROM をロードできます。安全起動が有効に設定されている場合は、このオプションはご利用になれません。</p> |
| <p><b>Dell Venue Pro 11-5130<br/>用</b></p> <p><b>Enable UEFI Network Stack</b></p>      | <p>IPV4/IPV6 PXE プロトコルサポートで UEFI ネットワークスタック機能を有効にします。</p>   |

表 6. 日付 / 時刻

| オプション              | 機能                  |
|--------------------|---------------------|
| <b>System Date</b> | system date を表示します。 |
| <b>System Time</b> | system time を表示します。 |

表 7. システム設定

| オプション                    | 機能   |
|--------------------------|--|
| <b>USB Configuration</b> | <p>統合 USB コントローラを設定することができます。オプションは次の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Enable Boot Support (起動サポートを有効にする)</li> <li>• Enable USB3.0 Controller (USB3.0 コントローラを有効にする)</li> <li>• Enable External USB Port (外部 USB ポートを有効にする)</li> </ul> |

| オプション                        | 機能   |
|------------------------------|--|
|                              | デフォルト設定では、すべてのオプションが有効に設定されています。   |
| <b>USB PowerShare</b>        | USB PowerShare 機能の動作を設定します。デフォルト設定： <b>無効</b>  |
| <b>Audio</b>                 | このフィールドでは、統合オーディオコネクタを有効または無効にできます。<br><ul style="list-style-type: none"> <li>オーディオを有効します。デフォルト設定：<b>有効</b></li> </ul>   |
| <b>Miscellaneous Devices</b> | 各種オンボードデバイスを有効または無効に設定することができます。<br><ul style="list-style-type: none"> <li>マイクを有効にします。デフォルト設定：<b>有効</b></li> <li>カメラを有効にします。デフォルト設定：<b>有効</b></li> <li>メディアカードを有効にします。デフォルト設定：<b>有効</b></li> <li>Disable Media Card (メディアカードを無効にする)</li> </ul> |

表 8. ビデオ

| オプション                 | 機能  |
|-----------------------|---|
| <b>LCD Brightness</b> | 周囲光センサーがオフの場合に、パネル輝度を表示します。<br><ul style="list-style-type: none"> <li>バッテリーの輝度</li> <li>AC の輝度</li> </ul> |

表 9. セキュリティ

| オプション                 | 説明   |
|-----------------------|--|
| <b>Admin Password</b> | このフィールドでは、管理者 (admin) パスワード (セットアップパスワードと呼ばれる場合もある) を設定、変更、または削除します。admin password ではいくつかのセキュリティ機能を有効にすることができます。ドライブにはデフォルトで設定されたパスワードはありません。<br><br>新しいパスワードを追加するには:<br><ul style="list-style-type: none"> <li>Enter the old password (古いパスワードを入力する)</li> <li>Enter the new password (新しいパスワードを入力する)</li> <li>Confirm the new password (新しいパスワードを確認する)</li> </ul> |

| オプション                          | 説明  |
|--------------------------------|---|
| <b>System Password</b>         | <p>パスワードを入力し終わったら <b>OK</b> をクリックします。</p> <p>タブレットのパスワード（以前プライマリパスワードと呼ばれていた）を設定、変更、または削除することができます。</p> <p>ドライブにはデフォルトで設定されたパスワードはありません。</p> <p>新しいパスワードを追加するには:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Enter the old password（古いパスワードを入力する）</li> <li>• Enter the new password（新しいパスワードを入力する）</li> <li>• Confirm the new password（新しいパスワードを確認する）</li> </ul> <p>パスワードを入力し終わったら <b>OK</b> をクリックします。</p> |
| <b>Strong Password</b>         | <p>Enable strong password（強力なパスワードを有効にする） - このオプションはデフォルトで無効に設定されています。</p>  |
| <b>Password Configuration</b>  | <p>このフィールドは、Admin password および System password の最小、および最大文字数をコントロールします。このフィールドへの変更は、セットアップユーティリティを終了する前にボタンを適用するか、変更を保存しなければ、アクティブにはなりません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Admin Password Min（管理者パスワードの最小文字数）</li> <li>• Admin Password Max（管理者パスワードの最大文字数）</li> <li>• System Password Min（システムパスワードの最小文字数）</li> <li>• System Password Max（システムパスワードの最大文字数）</li> </ul>                          |
| <b>Password Bypass</b>         | <p>このオプションを選択すると、システムの再起動時に、システム（起動）パスワードと内蔵 HDD パスワードの入力をスキップすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 無効</li> <li>• <b>Reboot Bypass</b>（デフォルトで有効）</li> </ul>   |
| <b>Password Change</b>         | <p>管理者パスワードが設定されている場合、システムパスワードおよびハードディスクパスワードの変更を許可するかどうかを決定することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 非管理者パスワード変更を可能にします(デフォルト)</li> </ul>   |
| <b>Non-Admin Setup Changes</b> | <p>Administrator password を設定している場合、このオプションは、オプションのセットアップの変更を許可するかどうかを決定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ワイヤレススイッチの変更を可能にします(デフォルト)</li> </ul>   |
| <b>TPM Security</b>            | <p>このオプションでは、システムの TPM (Trusted Platform Module) を有効にし、オペレーティングシステムで認識されるようにするかどうかを制御します。</p> <p>TPM セキュリティ(デフォルト)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• TPM ACPI サポート</li> <li>• 非アクティブ化</li> <li>• アクティブ化</li> </ul>   |


| オプション                      | 説明   |
|----------------------------|--|
|                            |  <b>メモ:</b> セットアッププログラムのデフォルト値を読み込んでも、起動、起動しない、および消去のオプションには影響しません。このオプションが変更されると、すぐに反映されます。                                    |
| <b>PTT Security</b>        | PTT サポートの有効または無効を可能にします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• PTT セキュリティ(デフォルト)</li> <li>• トラストを取り消す(デフォルト)</li> </ul>   |
| <b>Computrace (R)</b>      | このフィールドでは、オプションの <i>Absolute Software</i> 社製 <i>Computrace Service</i> の BIOS モジュールインタフェースを起動 / 停止または無効にします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 非アクティブ化 (デフォルト)</li> <li>• 無効</li> <li>• アクティブ化</li> </ul> |
| <b>CPU XD Support</b>      | このオプションでは、プロセッサの Execute Disable モードを有効、または無効にします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Enable CPU XD Support (CPU XD サポートを有効にする)</b> (デフォルトで有効)</li> </ul>   |
| <b>Admin Setup Lockout</b> | 管理者パスワードが設定されている場合、セットアップユーティリティを起動するオプションを有効または無効にすることができます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Admin Setup Lockout を有効にする(デフォルト)</li> </ul>  |

表 10. 安全起動

| オプション                        | 機能  |
|------------------------------|---|
| <b>Secure Boot</b>           | 安全起動機能を有効または無効にすることができます。デフォルト設定： <b>無効</b>   |
| <b>Expert Key Management</b> | システムが Custom Mode (カスタムモード) の場合のみ、セキュリティキーデータベースを操作できます。 <b>Enable Custom Mode (カスタムモードを有効にする)</b> オプションはデフォルトで無効に設定されています。オプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• PK</li> <li>• KEK</li> <li>• db</li> <li>• dbx</li> </ul> <p><b>Custom Mode (カスタムモード)</b> を有効にすると、<b>PK、KEK、db、および dbx</b> の関連オプションが表示されます。このオプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Save to File (ファイルに保存)</b> - ユーザーが選択したファイルにキーを保存します。</li> <li>• <b>Replace from File (ファイルから交換)</b> - 現在のキーをユーザーが選択したファイルのキーと交換します。</li> </ul> |


| オプション | 機能   |
|-------|--|
|       | <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Append from File (ファイルから追加)</b> - ユーザーが選択したファイルから現在のデータベースにキーを追加します。</li> <li>• <b>Delete (削除)</b> - 選択したキーを削除します。</li> <li>• <b>Reset All Keys (すべてのキーをリセット)</b> - デフォルト設定にリセットします。</li> <li>• <b>Delete All Keys (すべてのキーを削除)</b> - すべてのキーを削除します。</li> </ul> <p> <b>メモ:</b> Custom Mode (カスタムモード) を無効にすると、すべての変更が消去され、キーはデフォルト設定に復元されます。</p> |

表 11. パフォーマンス

| オプション                         | 説明   |
|-------------------------------|--|
| <b>Multi Core Support</b>     | <p>プロセッサが 1 つまたはすべてのコアを有効にするかどうか指定します。コアを追加することでアプリケーションのパフォーマンスが向上する場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• すべて (デフォルト)</li> <li>• 1</li> <li>• 2</li> </ul>  |
| <b>Intel SpeedStep</b>        | <p>プロセッサの Intel SpeedStep モードを有効または無効にすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Intel(R) SpeedStep を有効にする(デフォルト)</li> </ul>  |
| <b>C States Control</b>       | <p>追加プロセッサのスリープ状態を有効または無効にすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• C 状態(デフォルト)</li> </ul>   |
| <b>Intel TurboBoost</b>       | <p>プロセッサの Intel TurboBoost モードを有効または無効にすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Intel TurboBoost を有効にする (デフォルト) — Intel TurboBoost ドライバーにより CPU またはグラフィックスプロセッサのパフォーマンスを向上させることができます。</li> </ul>  |
| <b>HyperThread Control</b>    | <p>ハイパースレッドをプロセッサで有効または無効にすることができます。デフォルト設定: <b>有効</b></p>   |
| <b>Rapid Start Technology</b> | <p>このオプションでは、スリープモード中にユーザーが指定した時間が経つと自動的にタブレットを低電力状態にすることで、バッテリーの寿命を延ばすことが可能です。このオプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Intel Rapid Start Feature (Intel ラピッドスタート機能)</li> <li>• タイマーを使用した場合のラピッドスタートへの移行</li> </ul> <p>デフォルト設定では、すべてのオプションが有効に設定されています。</p> |

表 12. 電源管理

| オプション              | 説明  |
|--------------------|---|
| <b>AC Behavior</b> | <p>AC アダプタが接続されている場合に、タブレットの電源が自動的に入るように設定できます。このオプションは無効に設定されています。</p> |




| オプション  | 説明  |
|--|---|
|  | <ul style="list-style-type: none"> <li>Wake on AC</li> </ul>  |
| <b>Auto On Time</b>                          | <p>システムが自動的に起動する時刻を設定することができます。オプションは次の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>無効 (デフォルト)</li> <li>Every Day (毎日)</li> <li>Weekdays (平日)</li> <li>Select Days (選択した日)</li> </ul>   |
| <b>Peak Shift</b>                            | <p>このオプションでは、ピーク時の AC 消費を最小限に抑えて使用することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>月曜日</li> <li>火曜日</li> <li>水曜日</li> <li>木曜日</li> <li>金曜日</li> <li>土曜日</li> <li>日曜日</li> </ul>  |
| <b>Advanced Battery Charge Configuration</b> | <p>このオプションでは、バッテリーをアドバンストバッテリー充電モードのシステムに置いて、バッテリー性能を最大限に高めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>月曜日</li> <li>火曜日</li> <li>水曜日</li> <li>木曜日</li> <li>金曜日</li> <li>土曜日</li> <li>日曜日</li> </ul>  |
| <b>Primary Battery Charge Configuration</b>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>適応</li> <li>標準</li> <li>ExpressCharge</li> <li>Primary AC Use (主に AC を使用)</li> <li>カスタム</li> </ul> <p> <b>メモ:</b> バッテリーの設定によって、一部のバッテリータイプで使用できない場合があります。このオプションを有効にするには、アドバンストバッテリー充電設定モードを無効にする必要があります。</p> |
| <b>Intel Smart Connect Technology</b>        | <p>このオプションが有効になっている場合、タブレットがスリープモード中でも定期的に近くのワイヤレス接続を感知します。デフォルト設定： <b>無効</b></p>   |

表 13. POST 動作

| オプション                   | 説明   |
|-------------------------|--|
| <b>Adapter Warnings</b> | <p>特定の電源アダプタを使用する場合に、アダプタの警告メッセージが表示されるように設定することができます。このオプションはデフォルトで有効に設定されています。</p> |

| オプション           | 説明  |
|-----------------|---|
|                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>• Enable Adapter Warnings (アダプタの警告を有効にする)</li> </ul>   |
| <b>Fastboot</b> | <p>一部の互換性手順をスキップすることにより、起動プロセスをスピードアップするオプションです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Minimal (最小)</li> <li>• Thorough (完全)</li> <li>• Auto (デフォルトで有効)</li> </ul> <p> <b>メモ:</b> Fastboot を有効にすると、USB または薄型 / トラベルキーボードからの F2 BIOS へのアクセスができなくなります。Dell のロゴ画面が表示され後に<b>ボリュームアップ</b>ボタンを押して、BIOS セットアップにアクセスすることはできません。</p> |

表 14. 仮想化サポート

| オプション                    | 説明  |
|--------------------------|---|
| <b>Virtualization</b>    | <p>このオプションでは、インテル・バーチャライゼーション・テクノロジーが提供する付加的なハードウェア機能を VMM (Virtual Machine Monitor) で使用できるようにするかどうかを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Intel Virtualization テクノロジーを有効にする</b> (デフォルト)</li> </ul>    |
| <b>VT for Direct I/O</b> | <p>このオプションでは、Direct I/O 用にインテル・バーチャライゼーション・テクノロジーが提供する付加的なハードウェア機能を VMM (Virtual Machine Monitor) で使用できるようにするかどうかを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Direct I/O 用の VT を有効にする</b> (デフォルト)</li> </ul> |
| <b>Trusted Execution</b> | <p>このオプションでは、Trusted Execution テクノロジーが提供する付加的なハードウェア機能を MVMM (Measured Virtual Machine Monitor) で使用できるようにするかどうかを指定します。デフォルト: <b>無効</b></p>  |

表 15. ワイヤレス

| オプション                         | 説明   |
|-------------------------------|--|
| <b>Wireless Device Enable</b> | <p>ワイヤレスデバイスを有効化または無効化することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• WWAN (デフォルトで有効)</li> <li>• WLAN / WiGig</li> </ul> |

表 16. メンテナンス

| オプション              | 説明  |
|--------------------|---|
| <b>Service Tag</b> | <p>タブレットのサービスタグを表示します。</p>  |
| <b>Asset Tag</b>   | <p>アセットタグがまだ設定されていない場合、システムアセットタグを作成することができます。このオプションはデフォルトでは設定されていません。</p> |



表 17. システムログ

| オプション              | 説明                                      |
|--------------------|---|
| <b>BIOS events</b> | <p>システムイベントログを表示し、そのログを消去することができます。</p> |


| オプション        | 説明   |
|--------------|--|
|              | <ul style="list-style-type: none"> <li>• ログのクリア</li> </ul>                                       |
| Power events | <p>電源イベントログを表示し、そのログを消去することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ログのクリア</li> </ul> |

## BIOS のアップデート

システム基板の交換時またはアップデートが可能な場合に、BIOS（セットアップユーティリティ）をアップデートされることをお勧めします。タブレットの場合、バッテリーがフル充電されていて電源プラグに接続されていることを確認してください。

1. タブレットを再起動します。
2. [dell.com/support](https://dell.com/support) にアクセスします。
3. サービスタグやエクスプレスサービスコードを入力し、送信をクリックします。
  -  **メモ:** サービスタグを見つけるには、**Where is my Service Tag? (サービスタグの検索)** をクリックします。
  -  **メモ:** サービスタグが見つからない場合は、**Detect My Product (マイプロダクトの検出)** をクリックします。画面上の説明に進みます。
4. サービスタグの検索または検出ができない場合、**General Support (一般的なサポート)** の下の製品リストからお使いの製品を選択できます。
5. リストから **Product Type (製品のタイプ)** を選択します。
6. お使いの製品モデルを選択すると、その製品の **Product Support (製品サポート)** ページが表示されません。
7. **Get drivers (ドライバを取得)** をクリックし、**View All Drivers (すべてのドライバを表示)** をクリックします。  
Drivers and Downloads (ドライバおよびダウンロード) ページが開きます。
8. ドライバおよびダウンロード画面で、**オペレーティングシステム** ドロップダウンリストから **BIOS** を選択します。
9. 最新の BIOS ファイルを選んで **Download File (ファイルのダウンロード)** をクリックします。  
アップデートが必要なドライバを分析することもできます。お使いの製品でこれを行うには、**Analyze System for Updates (アップデートが必要なシステムの分析)** をクリックし、画面の指示に従います。
10. 希望のダウンロード方法を以下から選択してくださいウィンドウで希望のダウンロード方法を選択し、**Download File (ファイルのダウンロード)** をクリックします。  
**File Download (ファイルのダウンロード)** ウィンドウが表示されます。
11. **Save (保存)** をクリックして、タブレットにファイルを保存します。
12. **Run (実行)** をクリックして、タブレットにアップデートした BIOS 設定をインストールします。  
画面の指示に従います。

## 仕様

 **メモ:** 提供される内容は地域により異なる場合があります。以下の仕様は、コンピュータに同梱で出荷することが法律により定められている項目のみ示しています。コンピュータの構成の詳細については、Windows オペレーティングシステムのヘルプとサポートにアクセスして、コンピュータに関する情報を表示するオプションを選択してください。

| システム情報           |   |
|------------------|---|
| システムチップセット       | Intel Atom Z3770 シリーズ   |
| DRAM バス幅         | 64 ビット / チャンネル (LPDDR3 x 2CH)   |
| フラッシュ EPROM      | 128 Mbit SPI  |
| プロセッサ            |   |
| プロセッサのタイプ        | Intel Atom Z3770 プロセッサ  |
| 外付けバスの周波数        | 1066 MT/s (LPDDR3)  |
| メモリ              |   |
| メモリ容量            | 2 GB ; 1 GB x 2 CH (64 ビットバス幅 / チャンネル)                                      |
| メモリのタイプ          | LPDDR3  |
| メモリ速度            | 1066 MT/s   |
| 最小メモリ            | 2 GB  |
| 最大メモリ            | 2 GB  |
| ビデオ              |   |
| ビデオのタイプ          | Bay Trail-T SoC に内蔵された Gen7   |
| データバス            |   |
| ビデオコントローラー       | Gen7 メディアデコード (H.264 (1080p60)、MPEG2、MVC、VC-1、WMV9、VP8、MJPEG)               |
| 通信               |   |
| ネットワークアダプタ       | LTE、HSPA+   |
| Wireless (ワイヤレス) | WLAN、BT、NFC <ul style="list-style-type: none"> <li>Bluetooth 4.0</li> </ul> |

| <b>ポートとコネクタ</b>      |   |
|----------------------|---|
| オーディオ                | 3.5 mm ジャック x 1                                     |
| ビデオ                  | ミニ HDMI x 1   |
| USB 3.0              | USB 3.0 コネクタ (1)                                    |
| メモ리카ードリーダー           | マイクロ SD カードソケット                                     |
| ドッキングポート             | Dell 40 ピンドックコネクタ (1)                               |
| 加入者識別モジュール (SIM) ポート | マイクロ SIM スロット x 1                                   |
| スマートカード              | なし  |
| <b>ディスプレイ</b>        |   |
| タイプ                  | eDP I/F 付き TFT LCD                                  |
| Size (サイズ)           | 10.8 インチ (対角線)                                      |
| 寸法 :                 |   |
| 高さ                   | 250.20 mm (9.85 インチ)                                |
| 幅                    | 149.25 mm (5.90 インチ)                                |
| 対角線                  | 274.32 mm (10.08 インチ)                               |
| 有効領域 (X/Y)           | 239.04 mm / 134.46 mm                               |
| 最大解像度                | 1920 x 1080 ピクセル                                    |
| 最大輝度                 | 400 ニット   |
| リフレッシュレート            |   |
| 最小視角 :               |   |
| 水平方向                 | 80/80   |
| 垂直方向                 | 80/80   |
| ピクセルピッチ              |   |
| <b>カメラ (前面)</b>      |   |
| タイプ                  | OV 2722 (2 MP)                                      |
| 解決策                  | 1920 x 1080 ピクセル                                    |
| <b>カメラ (背面)</b>      |   |
| タイプ                  | IMX 175 (8 MP)                                      |
| 解決策                  | 3264 x 2448 ピクセル                                    |
| <b>保管時</b>           |   |
| 保管時                  | eMMC 4.5.1 32 GB (HS200) / eMMC 4.5.1 64 GB (HS200) |

---

## バッテリー

---

タイプ 2 シリーズ X 1 パラレル (2S1P) リチウムイオン  
32Wh (公称)

### 寸法

奥行き 230.64 mm (9.08 インチ)

高さ 4.71 mm (0.19 インチ)

幅 83.3 mm (3.28 インチ)

重量 220.00 g (0.49 lb)

電圧 7.4 VDC (公称) および 8.7 VDC (最大)

寿命 300 サイクル (充電 / 放電)

### 温度範囲

#### 動作時

充電 :

0 °C ~ 50 °C (32 °F ~ 158 °F)

放電 :

0 °C ~ 70 °C (32 °F ~ 122 °F)

#### 非動作時

-20 ~ 65 °C (4 °F ~ 149 °F)

### コイン型電池

3 V CR1220 リチウムイオン

電圧 : 3V

容量 : 35 mAh (23+/-3 度)

重量 : 0.8 g

温度 : -20 ~ +60 度

---

## AC アダプタ

---

### タイプ

入力電圧 100 ~ 240 VAC

入力電流 (最大) 0.60 A

入力周波数 50 ~ 60 Hz

出力電力 23.4 W / 30 W

出力電流 (30 W) 19.5 V / 1.2 A (連続) 19.5 V / 1.53 A (ピーク電流)、5 V / 2 A (連続)

定格出力電圧 19.5 VDC

温度範囲 :

---

**AC アダプタ**

---

|      |                                  |
|------|----------------------------------|
| 動作時  | 0 °C ~ 40 °C (32 °F ~ 104 °F)    |
| 非動作時 | -40 °C ~ 70 °C (-40 °F ~ 158 °F) |

---

**物理的仕様**

---

|         |                       |
|---------|-----------------------|
| 高さ      | 176.76 mm (6.96 インチ)  |
| 幅       | 279.74 mm (11.01 インチ) |
| 奥行き     | 10.20 mm (0.40 インチ)   |
| 重量 (最小) | 726.3 g               |

---

**環境**

---

温度 :

|     |                |
|-----|----------------|
| 動作時 | 0 °C ~ 40 °C   |
| 保管時 | -40 °C ~ 65 °C |

相対湿度 (最大) :

|     |                             |
|-----|-----------------------------|
| 動作時 | 動作時 : 10 % ~ 90 % (結露しないこと) |
| 保管時 | 保管時 : 5 % ~ 95 % (結露しないこと)  |


高度 (最大) :

|      |                                      |
|------|--------------------------------------|
| 動作時  | -16 ~ 3048 m (-50 ~ 10,000 フィート)     |
| 非動作時 | -15.2 ~ 10,668 m (-50 ~ 35,000 フィート) |

空気中浮遊汚染物質レベル

G1 (ISA-71.04-1985 の定義による)

## デルへのお問い合わせ

 **メモ:** お使いのコンピュータがインターネットに接続されていない場合は、購入時の納品書、出荷伝票、請求書、またはデルの製品カタログで連絡先をご確認ください。

デルでは、オンラインまたは電話によるサポートとサービスのオプションを複数提供しています。サポートやサービスの提供状況は国や製品ごとに異なり、国 / 地域によってはご利用いただけないサービスもございます。デルのセールス、テクニカルサポート、またはカスタマーサービスへは、次の手順でお問い合わせいただけます。

1. [dell.com/support](https://dell.com/support) にアクセスします。
2. サポートカテゴリを選択します。
3. ページの下部にある **国 / 地域**の選択 ドロップダウンリストで、お住まいの国または地域を確認します。
4. 必要なサービスまたはサポートのリンクを選択します。